

通話録音アダプター

**NS-4U**

型番 : NSMON\_S001

型番 : NSMON\_C001

# IPモニタリングシステム マニュアル (Windows7/10対応版)

この度はお買い上げいただき、ありがとうございます。  
正しく安全にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

## 【お願い】

「IPモニタリングシステム」ソフトウェアは必要台数分お買い求めください。  
クライアント用ソフトウェアは「NS-4U」アダプター毎に1式ご購入頂き、  
使用することができます。  
本ソフトウェアを複製、再頒布、ライセンス及びサブライセンスすることは  
違法行為に該当いたします。



**株式会社 長塚電話工業所**

● <http://www.nagatsuka.co.jp>

【お問い合わせ先】

● 〒213-0031 神奈川県川崎市高津区宇奈根643-3

● TEL 044 (850) 1533

◆ 「NS-4U」 IPモニタリングシステムの特徴①	01
「NS-4U」 IPモニタリングシステムの特徴②	02
◆用語の説明	03
◆アイコンの説明	04
◆補足①：IPモニタリングシステム タイプの違い①	05
◆補足①：IPモニタリングシステム タイプの違い②／各アプリケーションの関係	06
◆補足②：利用シーン	07
◆補足③：（ご参考）NS-4Uの接続図	08
◆補足④：インストールの手順（概要）	09
◆ <b>モニタリングサーバ編</b>	
●管理・S Vを同一端末で利用	
インストール手順①：Windows7版	10
インストール手順②	11
設定手順①：サーバ端末IPアドレスの確認	12
設定手順②：管理IPアドレスの設定	13
設定手順③：サウンドデバイス設定	14
設定手順④：管理・S Vを一端末で利用する設定（初回インストール時）	15
設定手順⑤：管理・S Vを一端末で利用する設定（IPアドレスを変更する場合）	16
●管理・S Vを別端末で利用	
設定手順①（管理端末）：管理IPアドレス設定	17
設定手順②（管理端末）：サウンドデバイス設定	18
設定手順③（管理端末）	19
設定手順④（管理端末）	20
設定手順⑤（S V端末）：管理IPアドレス設定（IPアドレスを変更する場合）	21
設定手順⑥（S V端末）：管理端末IPアドレス設定	22
設定手順⑦（S V端末）：管理端末サウンドデバイス設定	23
設定手順⑧「モニタリングサーバ」の終了方法	24
●アンインストール	
アンインストール手順	25
◆ <b>モニタリングクライアント編</b>	
インストール手順①	26
インストール手順②	27
設定手順①：管理端末IPアドレス設定	28
設定手順②：サウンドデバイス設定	29
設定手順③：終了方法	30
アンインストール	31
◆ <b>IPモニタリングシステム操作編</b>	
モニタリング機能	32
チャット機能①	33
チャット機能②	34
緊急通報機能	35
状態表示機能	36
便利な機能①	37
便利な機能②	38
便利な機能③	39
便利な機能④	40
◆ <b>ご推奨構成</b>	41
◆ <b>重要事項（制約事項）等</b>	42

この度はお買い上げいただき、ありがとうございました。  
本製品「NS-4U」 IPモニタリングシステムの特徴をご説明いたします。

- 1.電話機の種類を選びません（多機能電話機、IP電話機などの接続が可能）。
- 2.受話器の“受話音”を検出し、通話状態を管理端末に知らせることができます。  
（次ページ「タイプ3」の場合）
- 3.送話・受話の通信音量バランスを調整することができます。  
（次ページ「タイプ2」「タイプ3」の場合）
- 4.パソコンのUSBから電源を供給しますので別途AC電源は不要です。  
（別途「NS-4U」のハードウェアマニュアルをご確認ください）
- 5.オペレータとお客様との会話をリアルタイムでモニターすることができます。
- 6.オペレータへチャットによるサポートができます。
- 7.オペレータから管理者に緊急通報を行うことができます。
- 8.「NS-4U」のソフトウェアを併用することで通話録音ができます。  
（次ページ「タイプ2」「タイプ3」の場合）
- 9.低価格で用途に合わせた3つのタイプのモニタリングシステムを構築できます。

**タイプ1：「管理者」が「オペレータ」の通話をモニターすることができます**

- ・「NS-4U」をパソコンに接続することでモニタリングできます
- ・「管理者」と「オペレータ」はチャット等のコミュニケーションができます
- ・「管理者」は「オペレータ」の状態を確認することはできません
- ・通話録音はできません

**タイプ2：「NS-4U」に添付している「ソフトウェア」を使用して、通話録音と「管理者」が「オペレータ」の通話をモニターすることができます**

- ・「管理者」と「オペレータ」はチャット等のコミュニケーションができます
- ・「管理者」は「オペレータ」の状態を確認することはできません

**※上記「タイプ2」の取扱いにつきましては弊社営業までご確認ください。**

**タイプ3：「NS-4U」と別売の「通話録音ソフトウェア」を使用して、通話録音と「管理者」が「オペレータ」の通話をモニターすることができます**

- ・「管理者」と「オペレータ」はチャット等のコミュニケーションができます
- ・「管理者」は「オペレータ」の**状態を確認することができます**

## 10.製品の組み合わせ一覧表

タイプ	必要な製品				印
	NS-4U	IPモニタリングシステム (本ソフトウェア)	添付ソフトウェア (NS-4Uに同梱)	通話録音ソフトウェア (別売)	
タイプ1	○	○	—	—	<b>1</b>
タイプ2	○	○	○	—	<b>2</b>
タイプ3	○	○	—	○	<b>3</b>

## 11.提供機能一覧表

タイプ	提供機能					
	モニタリング	チャット	緊急通報	状態表示	通話録音	拡張機能*1
タイプ1	○	○	○	—	—	—
タイプ2	○	○	○	—	○	—
タイプ3	○	○	○	○	○	○

※1：拡張機能

1)通話録音ファイルの再生機能の向上（再生速度の変更、早送り・巻き戻し、検索、その他操作性の向上）

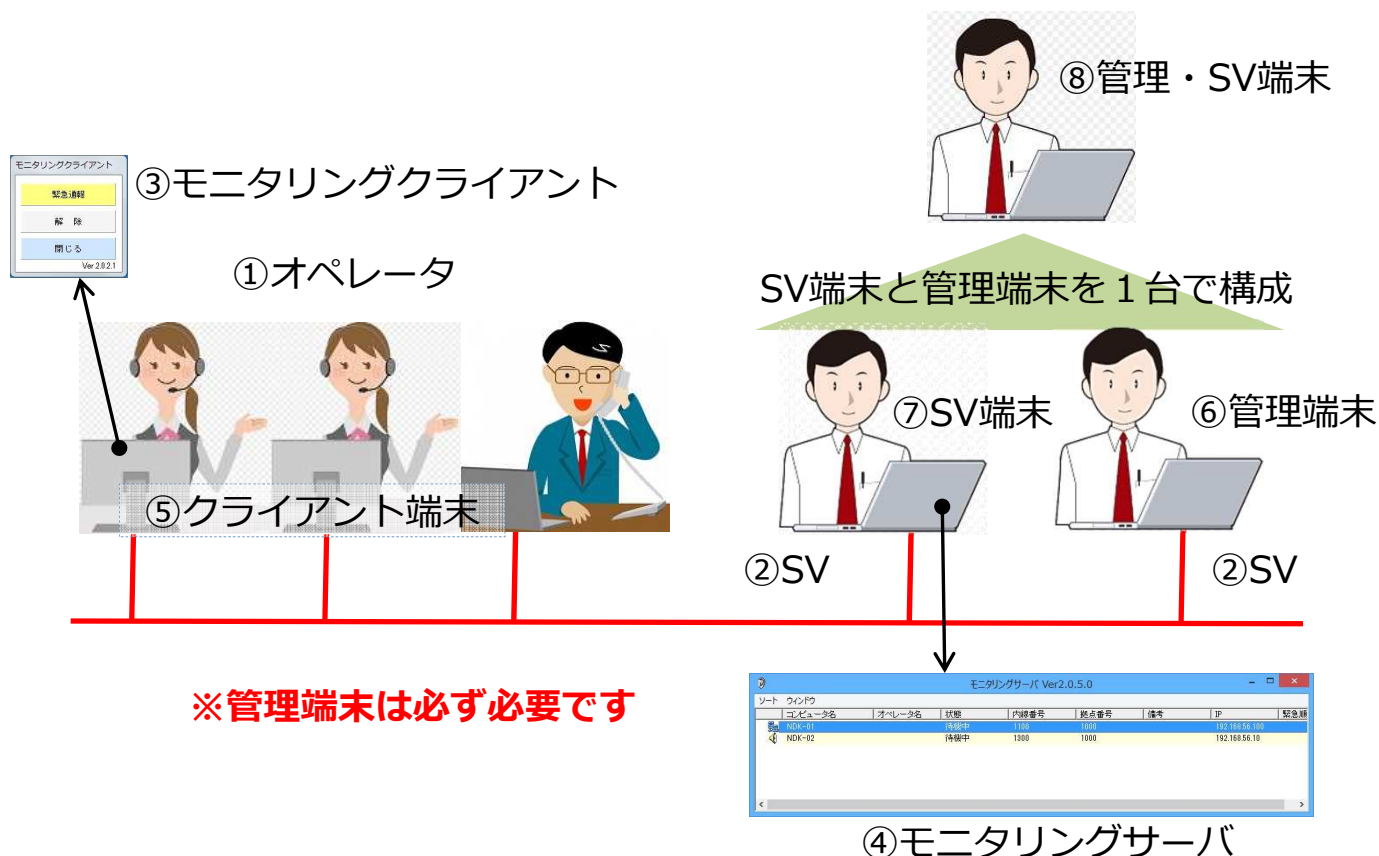
2)録音ファイルのコーデック追加

3)統合管理サーバ連携機能 等

**※上記表「タイプ2」の取扱いにつきましては弊社営業までご確認ください。**

## ●本書で使うアプリケーションと端末の用語について解説します。

項番	名称	説明
①	オペレータ	お客様と電話応対する人を示します。
②	SV (スーパーバイザー)	お客様と電話応対する人を管理する人を示します。
③	モニタリングクライアント	通話をサーバに届けるアプリケーションです。通話をモニタされるオペレータのパソコンにインストールします。
④	モニタリングサーバ	上記クライアントから通話を受け取り、再生するアプリケーションです。通話をモニタするパソコンにインストールします。
⑤	クライアント端末	項番③のアプリケーションをインストールした端末を示します。
⑥	管理端末	項番④のアプリケーションをインストールした端末を示します。モニタリングクライアントの端末情報を登録します。またモニターする端末の状態を受信し、下記SV端末に配信します。管理端末は下記SV端末機能を同時に利用することができます。
⑦	SV (スーパーバイザー) 端末	SV端末は管理端末から配信された情報を元に、通話のモニター、状態表示、チャットによるオペレータへの指示が可能です。
⑧	管理・SV端末	上記⑥と⑦を同じパソコンで利用する端末です。



●モニタリングサーバのメイン画面に表示されるアイコンの状態を説明します。

項番	アイコン	状態
1		接続状態
2		切断状態
3		モニタ状態
4		チャット状態
5		緊急通報状態
6		モニター状態 & チャット状態
7		モニター状態 & 緊急通報状態
8		チャット状態 & 緊急通報状態
9		モニタ状態 & チャット状態 & 緊急通報状態

# 補足①：IPモニタリングシステム タイプの違い①



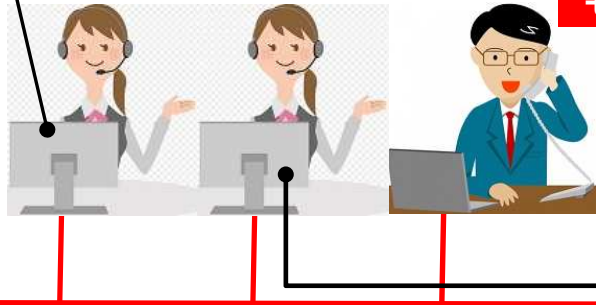
## 1 ●タイプ1（ベースシステム）

- ①オペレータの「通話モニター」
- ②オペレータと管理者との「チャット」
- ③オペレータから管理者へ「緊急通報」



**緊急通報**

**オペレータ**



**モニター**

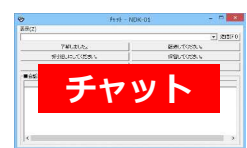
SV機能・管理機能を1台で構成



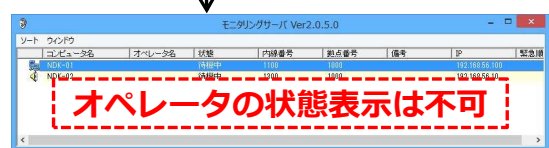
**SV**



**SV+管理者**



**チャット**



**オペレータの状態表示は不可**

## 2 ●タイプ2（ベースシステム+通話録音（基本機能））

- ①オペレータの「通話モニター」
- ②オペレータと管理者との「チャット」
- ③オペレータから管理者へ「緊急通報」
- ④オペレータの「通話録音（基本機能）」



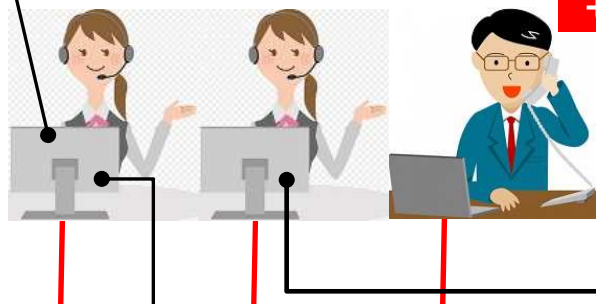
**SV+管理者**



**緊急通報**

**オペレータ**

※「タイプ2」の取扱いにつきましては  
弊社営業までご確認ください。



**モニター**

SV機能・管理機能を1台で構成



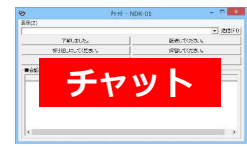
**SV**



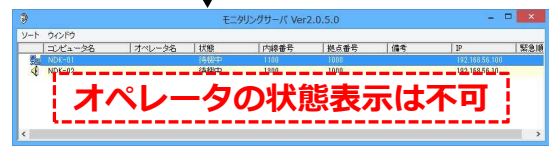
**SV+管理者**



**通話録音  
(基本機能)**



**チャット**



**オペレータの状態表示は不可**

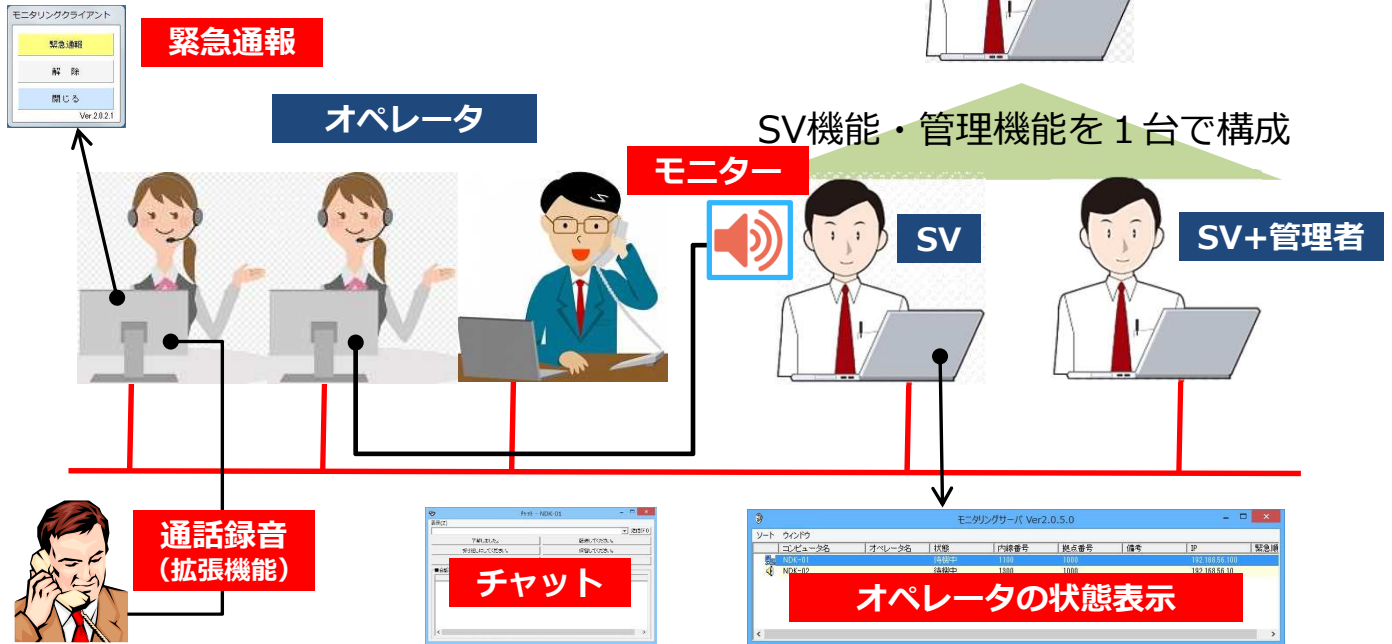
# 補足①：IPモニタリングシステム

## タイプの違い②・各アプリケーションの関係



### 3 ●タイプ3（ベースシステム+通話録音（拡張機能））

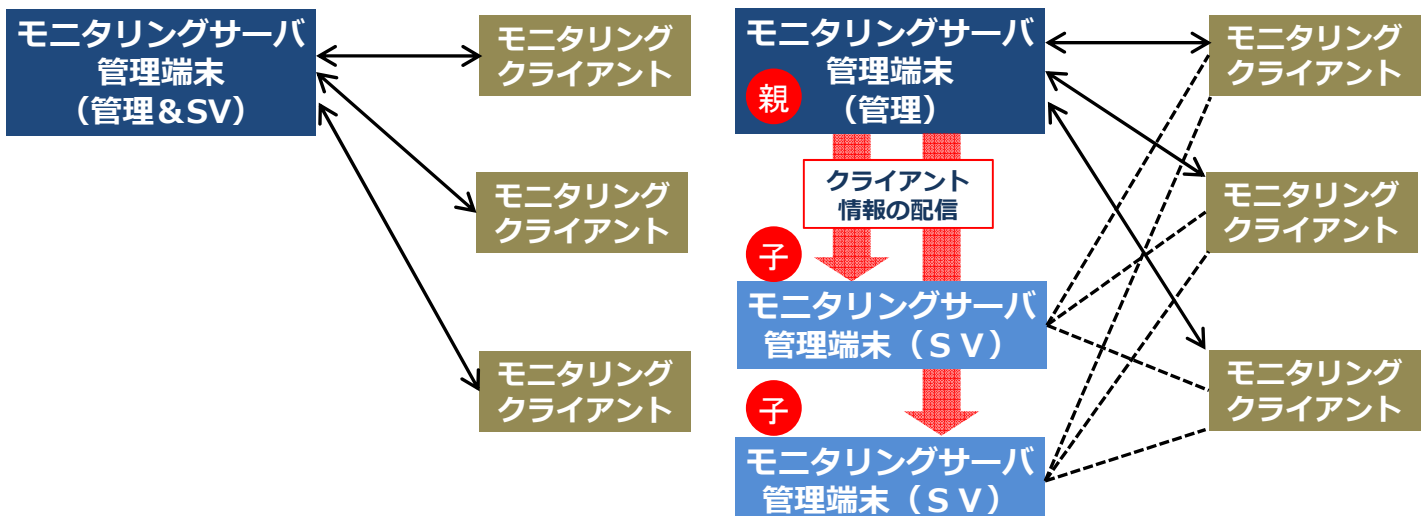
- ①オペレータの「通話モニター」
- ②オペレータと管理者との「チャット」
- ③オペレータから管理者へ「緊急通報」
- ④オペレータの「通話録音（基本機能）」
- ⑤オペレータの「状態表示」



### ●各アプリケーションの関係

①管理・SV機能を**同一PC**でご利用の場合

②管理・SV機能を**別PC**でご利用の場合



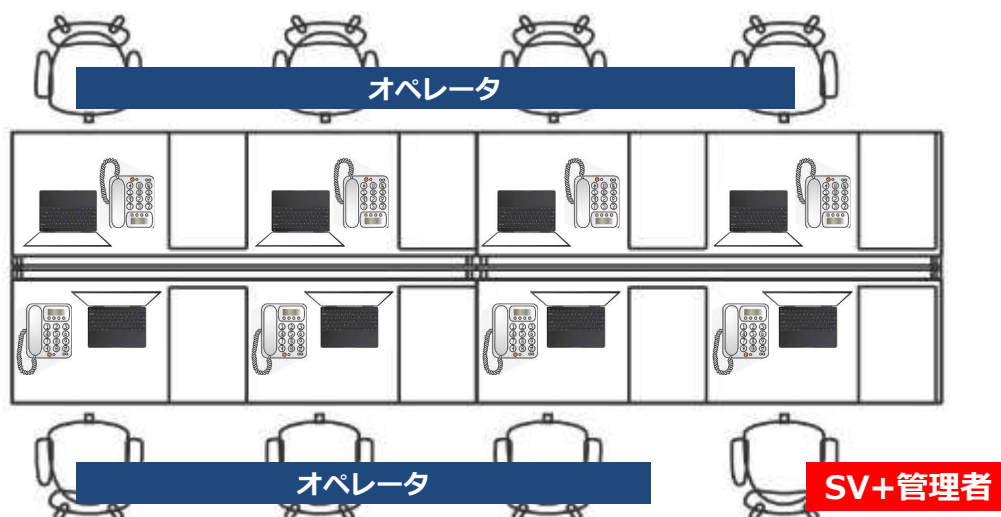
[親]から[子]へ配信するクライアント情報は[子]のキャッシュ内に保存され、[親]が停止状態にあっても、[子]に保存されたキャッシュ内のクライアント情報でモニタリングが継続可能

← : クライアント情報・モニター・チャット

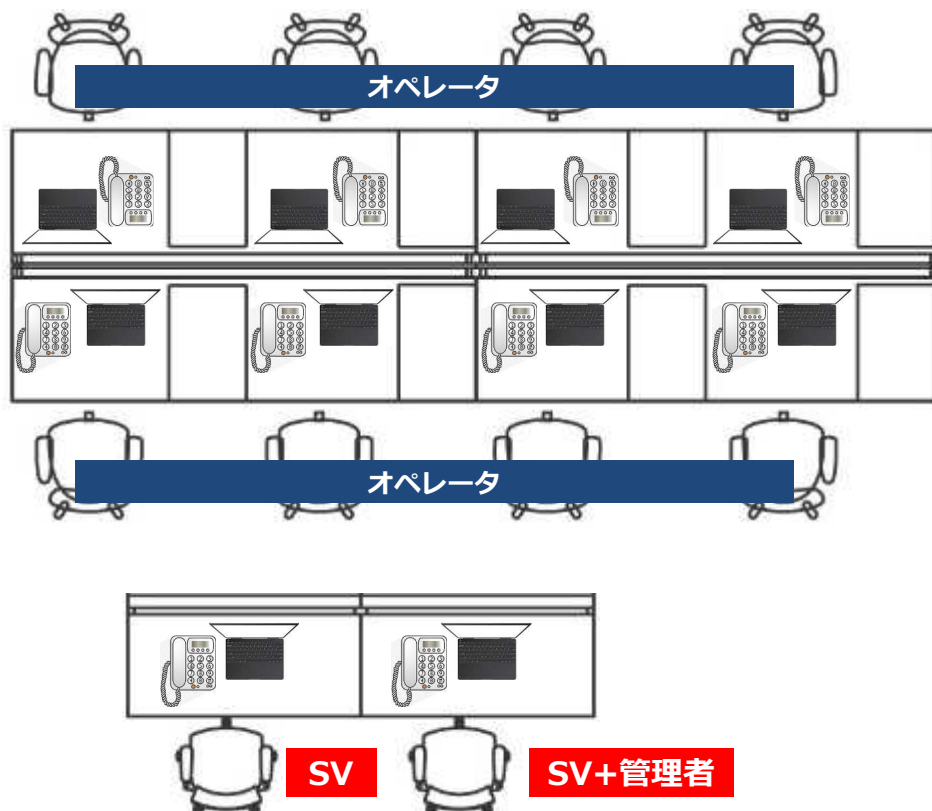


### ●IPモニタリングシステムの利用シーンを説明します。

#### 1.小規模システム



#### 2.中規模システム



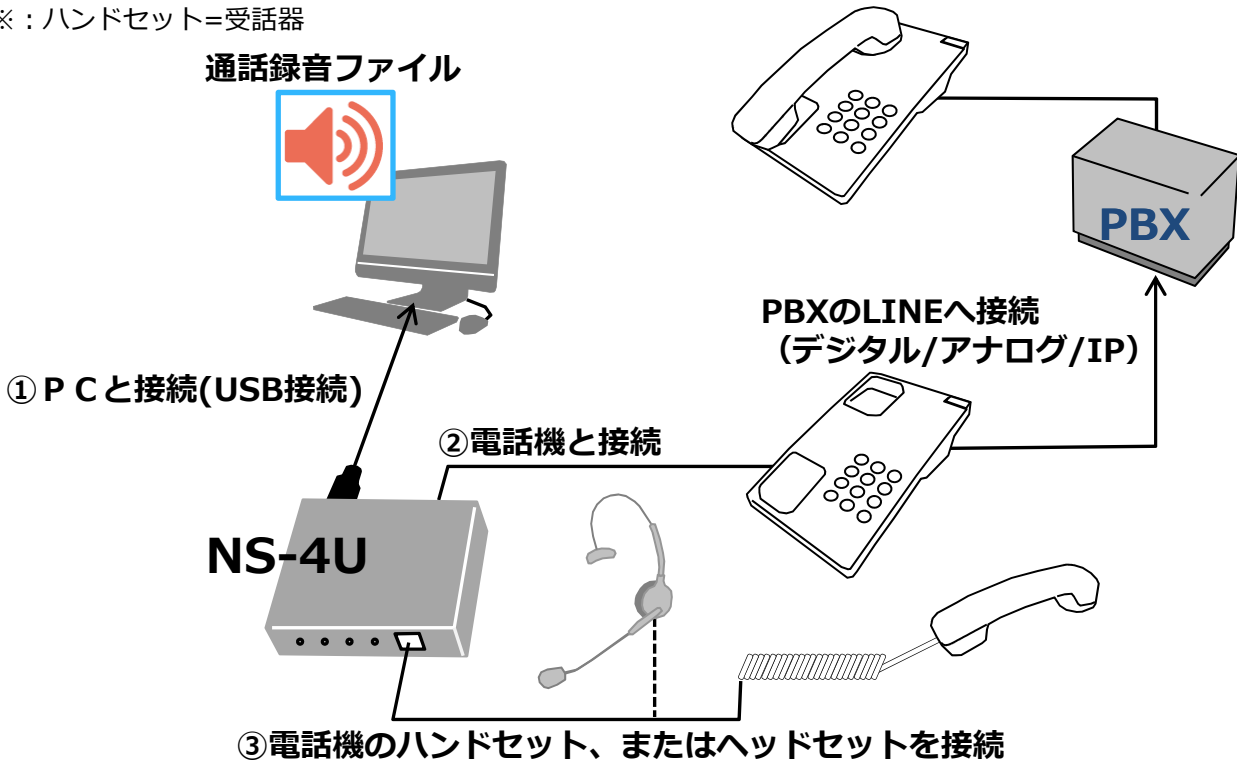
※「SV」と「管理者」を別のPCで利用することもできます。

## 補足③：（ご参考）NS-4Uの接続図

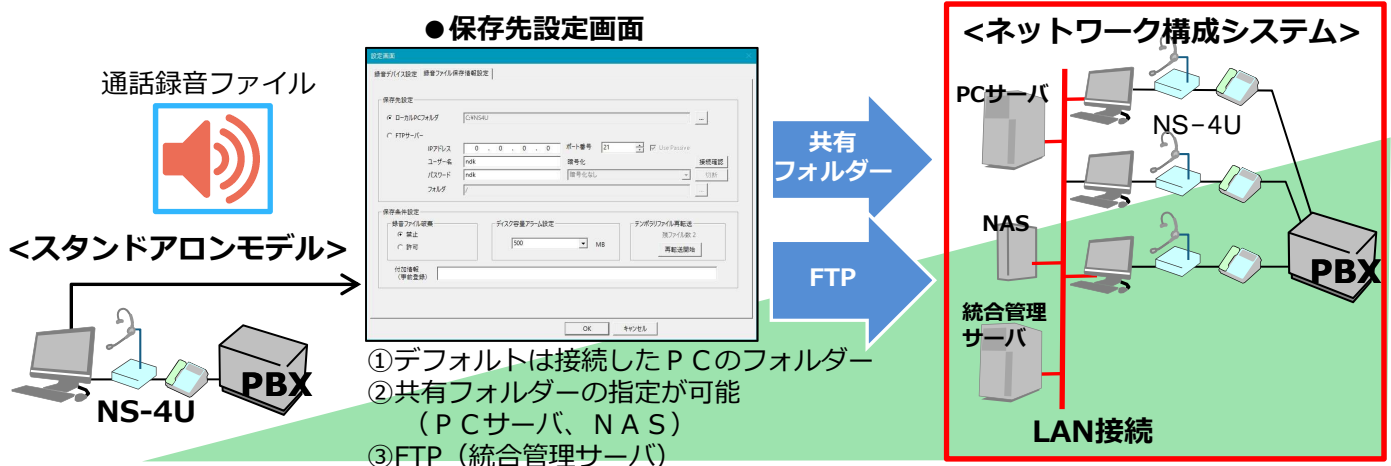
### ◆ NS-4Uの接続図

（詳しくはNS-4Uに同梱されているハードウェアマニュアルを参照ください。）

- 電話機のハンドセット※インターフェースを使用するため、各社のPBXの電話機に接続することができます。
  - ・接続は下図をご参照ください。ソフトウェアの詳細は「NS-4U」のマニュアルをご参照ください。
  - ※：ハンドセット=受話器



- NS-4Uを使用してPC 1 台の通話録音から、通話録音ファイルをネットワーク上にある共有フォルダー、NAS、統合管理サーバへ保存することが可能です（50台まで拡張することが可能です）。



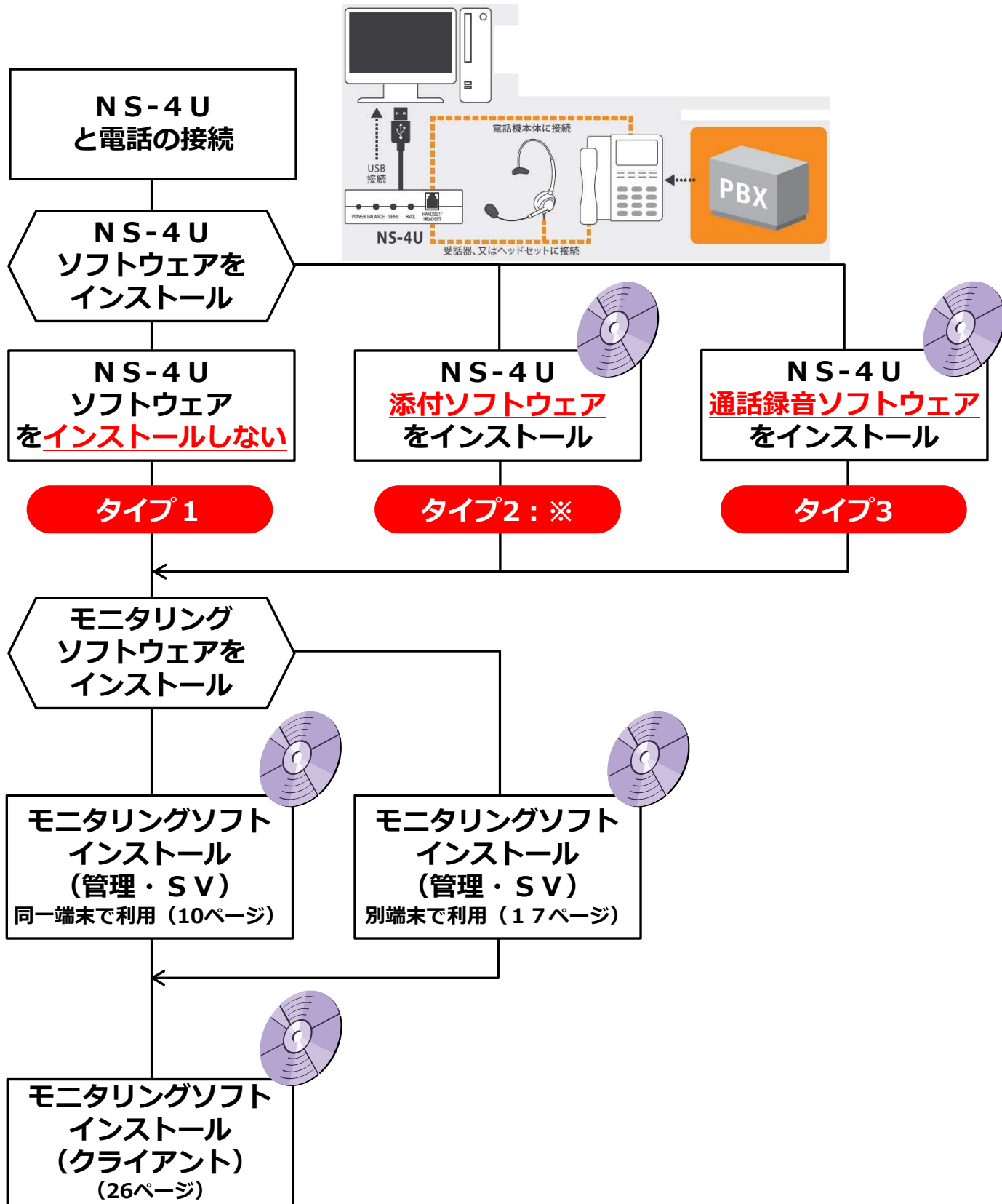
- ① デフォルトは接続したPCのフォルダー
- ② 共有フォルダーの指定が可能（PCサーバ、NAS）
- ③ FTP（統合管理サーバ）

- 通話録音ファイル名は下記書式で保存されます。本ソフトウェアの再生画面、またはExplorerで再生ができます。

**例：00001-20160621153058\_20160621153058\_1\_0\_0\_STEREO\_受付：長塚太郎.wav**

- ① 管理番号 ② 録音開始日時 ③ シリアル番号 ④ 内線番号 ⑤ 拠点番号 ⑥ STEREO固定 ⑦ 付加情報  
 （付加情報の設定方法は本マニュアルの12、14、15ページを参照してください。）

# 補足④：インストールの手順（概要）



※上図「タイプ2」の取扱いにつきましては弊社営業までご確認ください。

## インストール手順① : Windows7版

Windows10版のイメージは「モニタリングクライアント」編をご参照ください。

### ◆モニタリングサーバをインストールします。

- アイコンの説明をします。

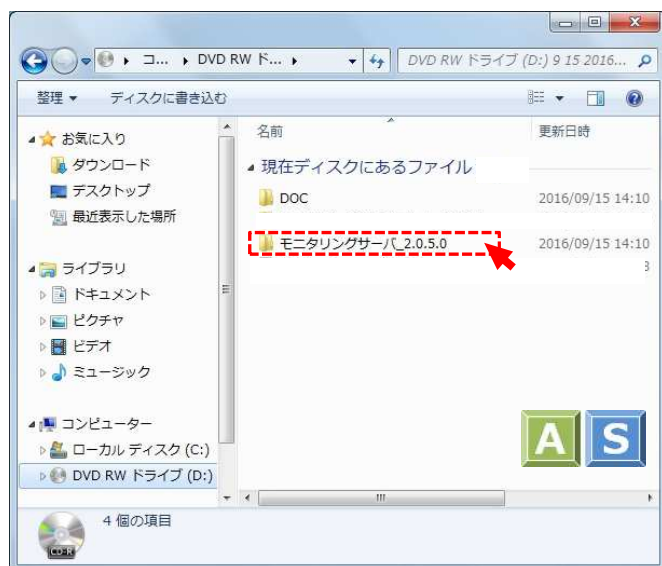


- 管理端末(Administrator)を示します。

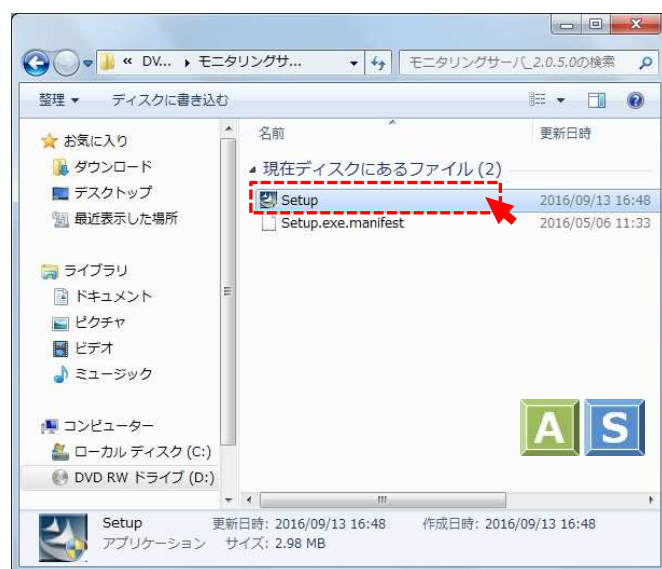


- SV端末(Supervisor)を示します。

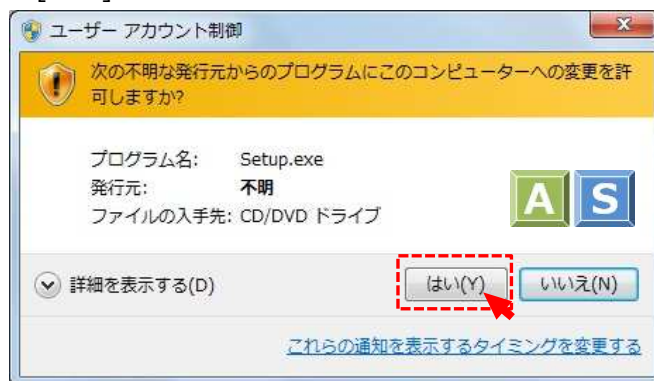
- ①IPモニタリングシステム (サーバ) のCDを、CDドライブにセットしCD内のファイルを表示します。
- ②下記[モニタリングサーバ]のフォルダーをダブルクリックします。



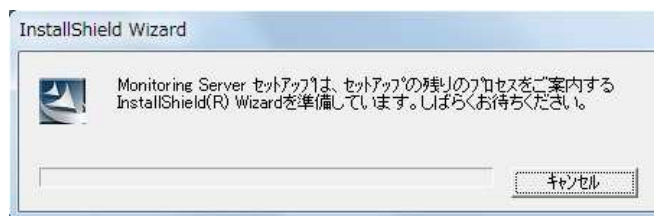
- ③下記[Setup]をダブルクリックして実行します。



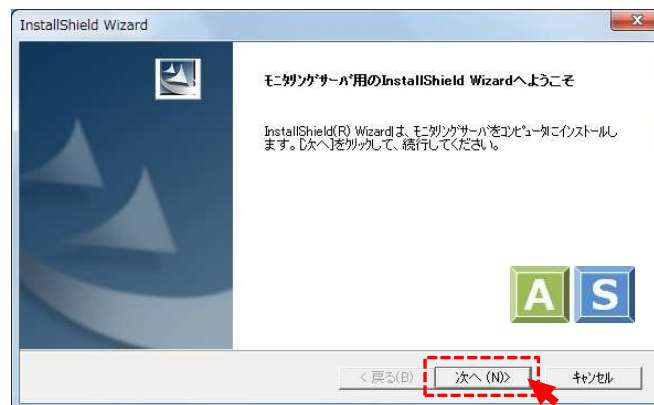
- ④しばらくすると下図画面を表示します。
- ⑤[はい]ボタンをクリックしてください。



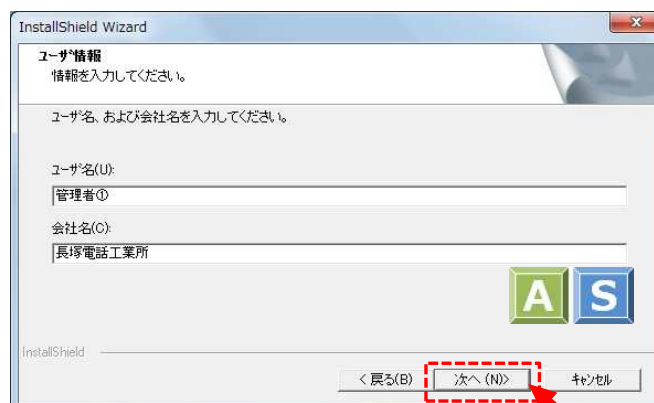
- ⑥下記画面を表示します。



- ⑦その後インストールを開始します。  
[次へ]をクリックします。



- ⑧ユーザ情報を登録します。



# モニタリングサーバ編

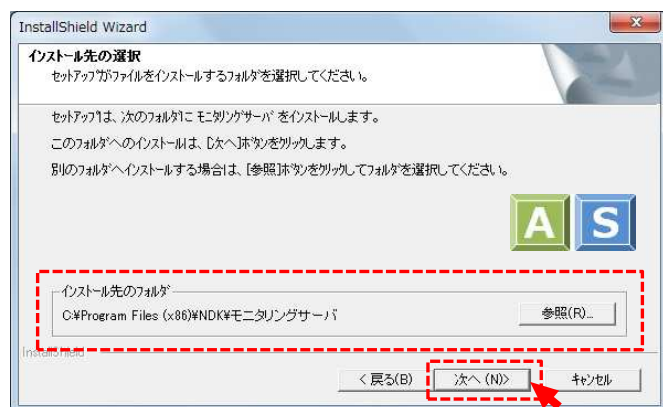
## インストール手順②



⑨インストール先を指定します。

[次へ]をクリックします。

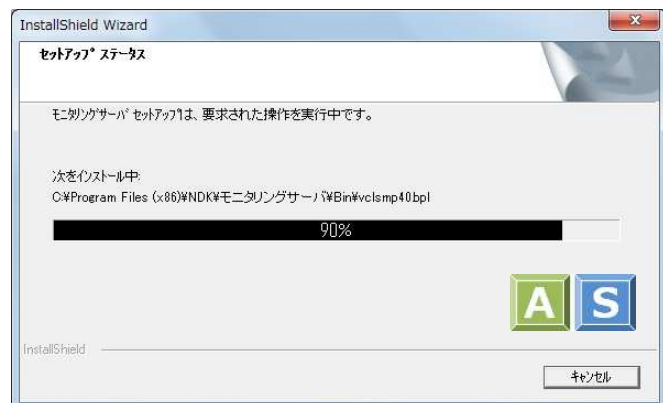
※下図はWindows7(64bit)版の例です。



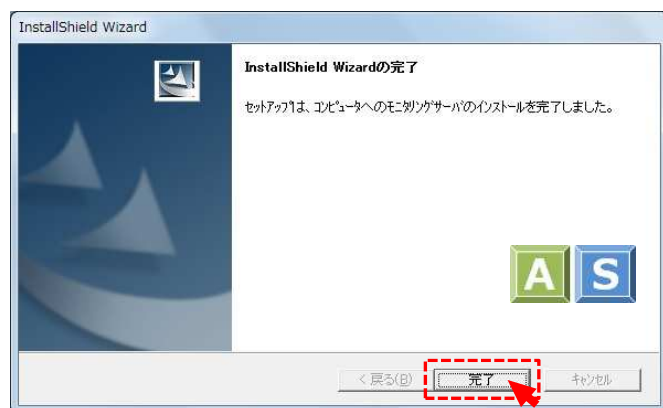
⑩インストールが完了すると下図のようにスタート画面を表示します。



⑩セットアップを開始します。



⑪インストールが完了します。[完了]をクリックします。



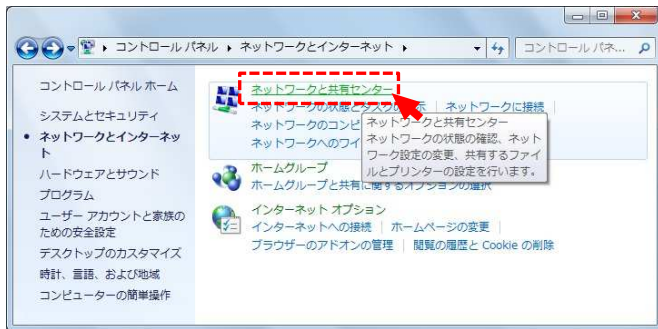
**インストールが完了が完了したら必ず P C を再起動してください。**

◆モニタリングサーバの設定方法について説明します。「コントロールパネル」で操作します。

①[ネットワーク・・・]をクリックします。



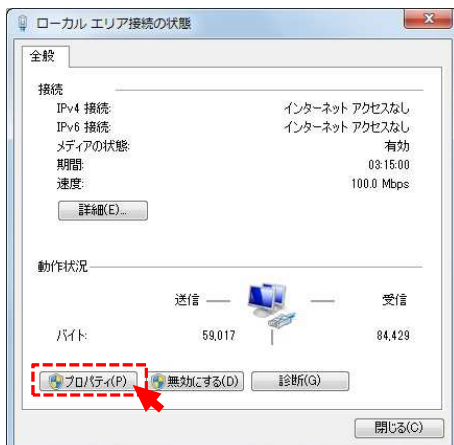
②[ネットワークと共有センター]をクリックします。



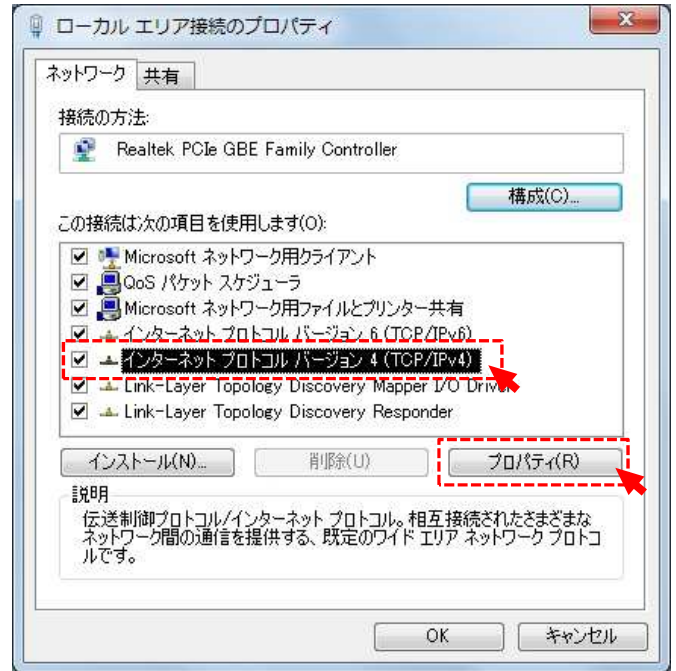
③[ローカルエリア接続]をクリックします。



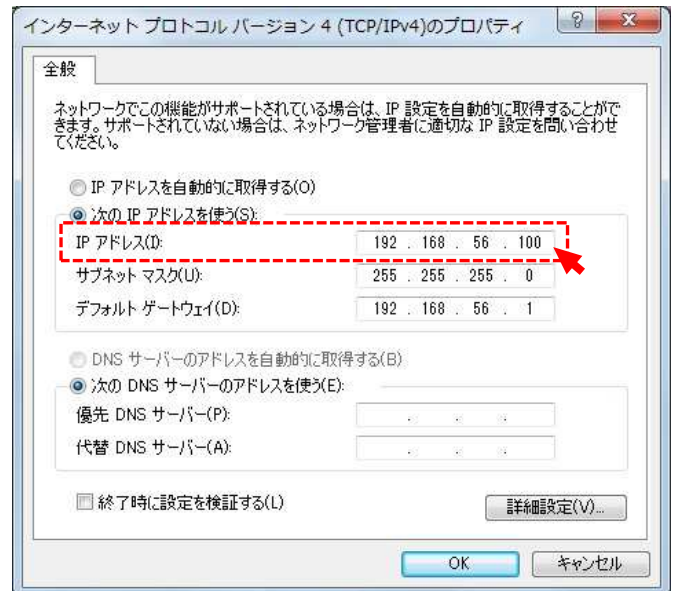
④[プロパティ]をクリックします。



⑤[インターネットプロトコルバージョン4]をクリックします。  
[プロパティ]をクリックします。



⑥[IPアドレス]を確認し、書き留めます。



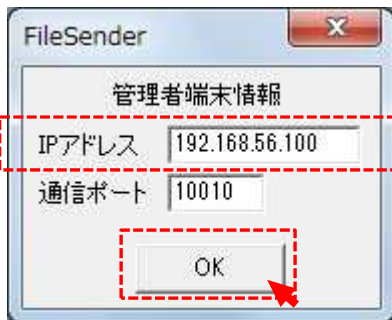
⑦以降サーバのIPアドレスを[192.168.56.100]で設定方法について説明いたします。

### ◆IPアドレスの設定

本設定は初回起動時に設定し、また後から変更することも可能です。

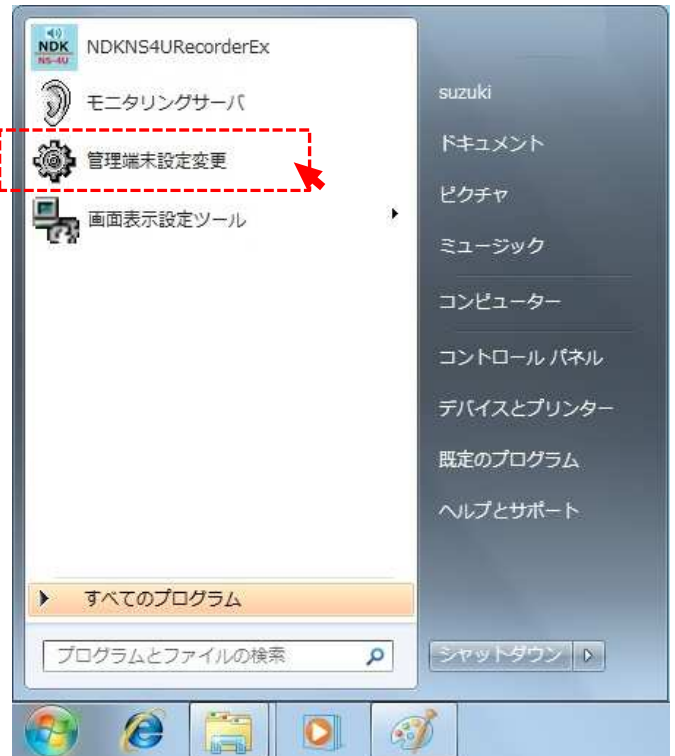
### ●インストール後の初回起動時

- ①初回起動時に下記画面が表示されます。先のページで確認した(書き留めた)IPアドレスを設定します。IPアドレスを設定したら[OK]ボタンをクリックします。

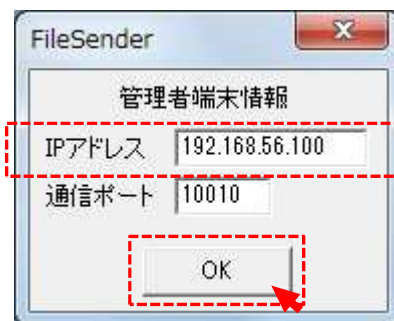


### ●IPアドレスを変更する場合

- ①スタートボタン、または[すべてのプログラム]から[管理端末設定変更]起動します。



- ②下記画面が表示されます。新しいサーバ端末のIPアドレスを設定します。IPアドレスを設定したら[OK]ボタンをクリックします。



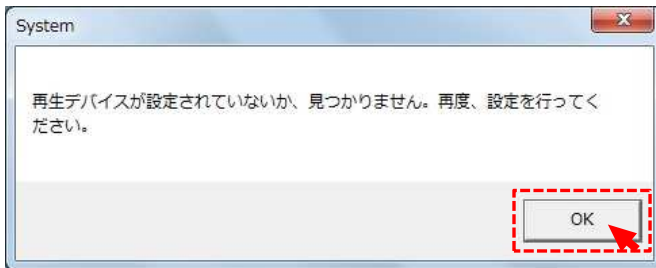
- ③モニタリングサーバ起動時は再起動してください。

### ◆サウンドデバイスの設定

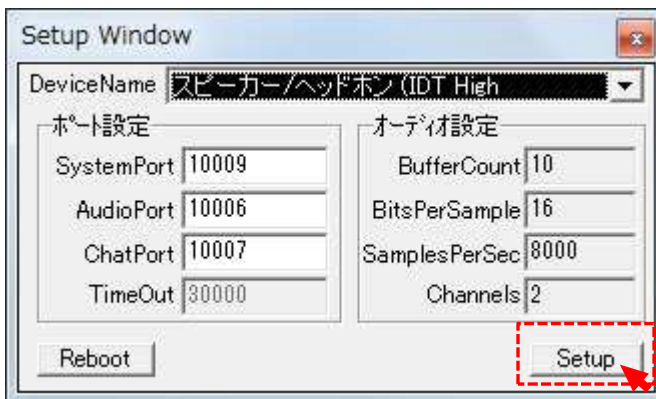
本設定は初回起動時で設定し、また後から変更することも可能です。

#### ●インストール後の初回起動時

- ①前ページの「管理者端末情報」の設定が完了すると下記メッセージを表示します。  
[OK]ボタンをクリックします。



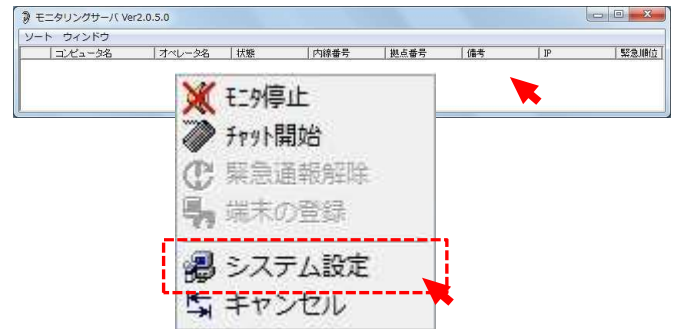
- ②下記画面を表示します。[DeviceName]からオンボードを含め、再生したいサウンドデバイスを選択して[Setup]をクリックします。



- ③モニタリングサーバのメイン画面が起動します。

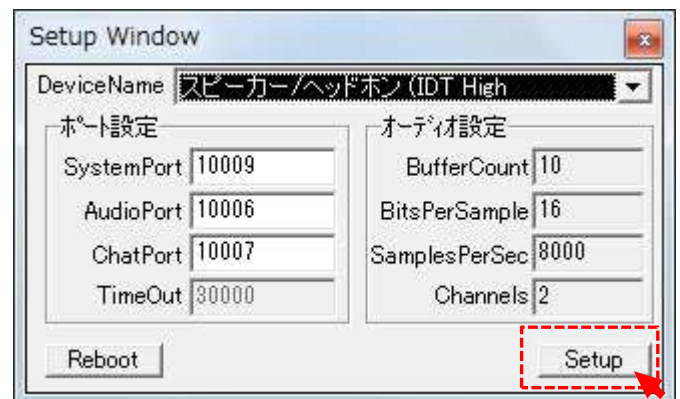
#### ●サウンドデバイスを変更する場合

- ①メイン画面にカーソルを置き、右クリックします。



- ②上記画面[システム設定]をクリックすると下記画面を表示します。

[DeviceName]からオンボードを含め、再生したいサウンドデバイスを選択し[Setup]をクリックします。

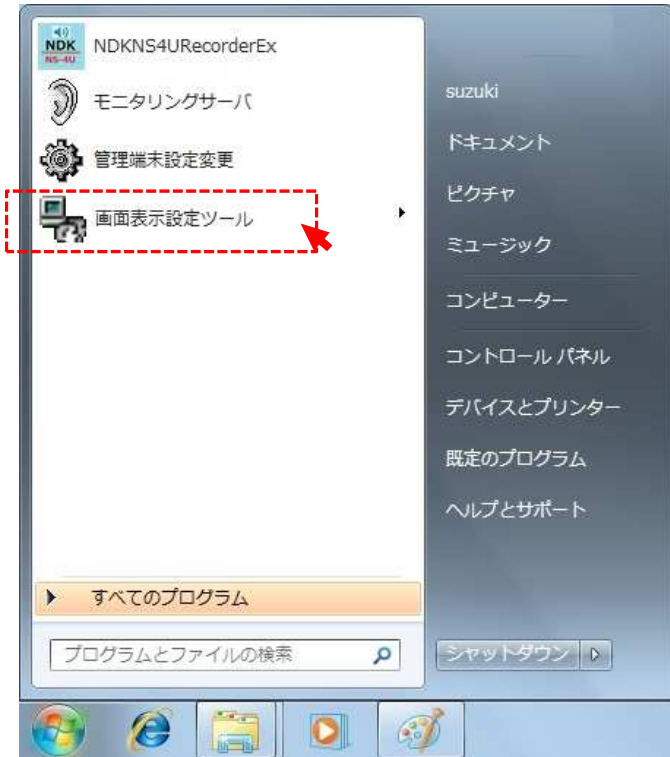


- ③モニタリングサーバのメイン画面が起動します。

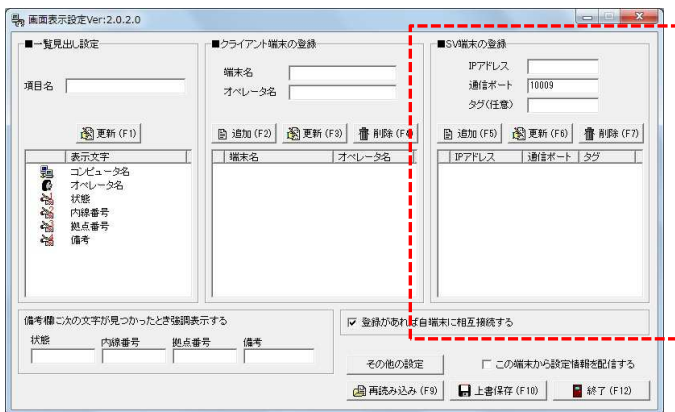


### ◆管理・SV端末を同じ端末で設定する：初回インストール時

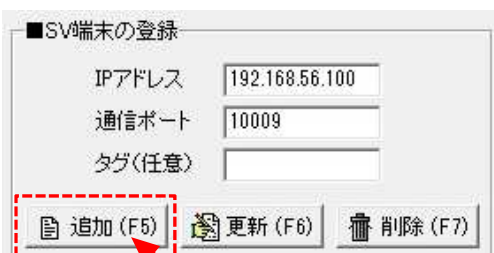
①スタートボタン、または[すべてのプログラム]から [画面表示設定]起動します。



②下記画面が表示されます。赤点線枠の設定をします。



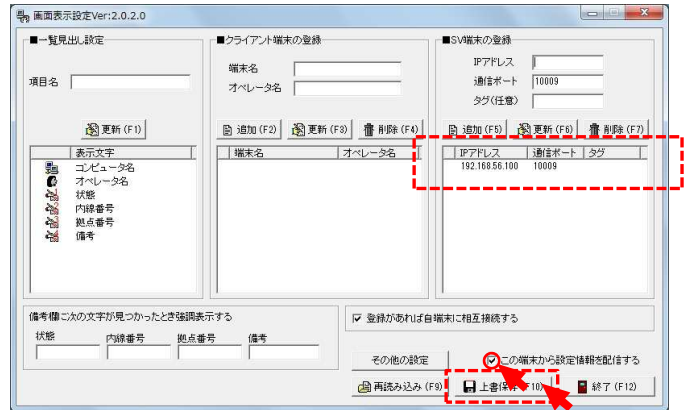
③設定手順②で確認したIPアドレスを設定します。 IPアドレスを入力し[追加]ボタンをクリックします。



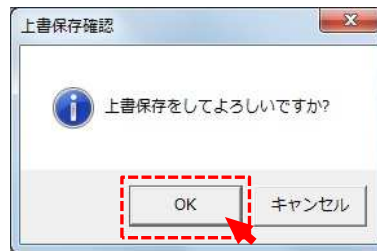
④SV端末のIPアドレスが追加されます。

⑤[この端末から設定情報を配信します]を☑にします。

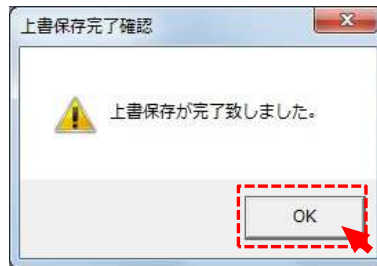
⑥その後[上書保存]ボタンをクリックします。



⑦[OK]ボタンをクリックすることで、完了メッセージ表示します。



⑧「OK」ボタンをクリックします。



⑨[画面表示設定]・[モニタリングサーバ]画面を終了し、[モニタリングサーバ]を起動します。



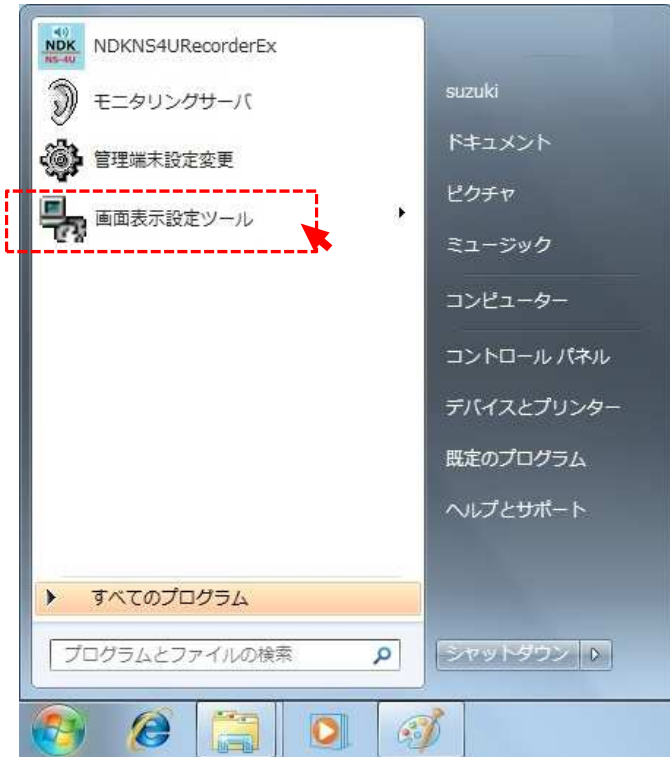
⑩[ウィンドウ]タブをクリックし [見出しと端末登録画面]が追加されたことを確認してください。



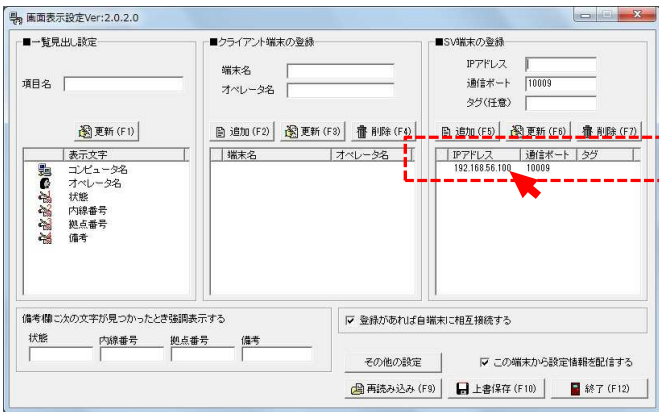
⑪以上でモニタリングサーバ名のインストールは完了です。

### ◆管理・SV端末を同じ端末で設定する：IPアドレスを変更する場合

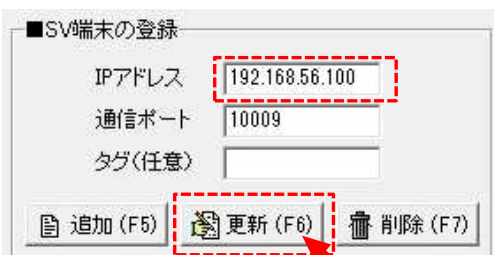
①スタートボタン、または[すべてのプログラム]から「画面表示設定ツール」を起動します。



②下記画面が表示されます。赤点線枠の設定をします。下記IPアドレスをクリックします。



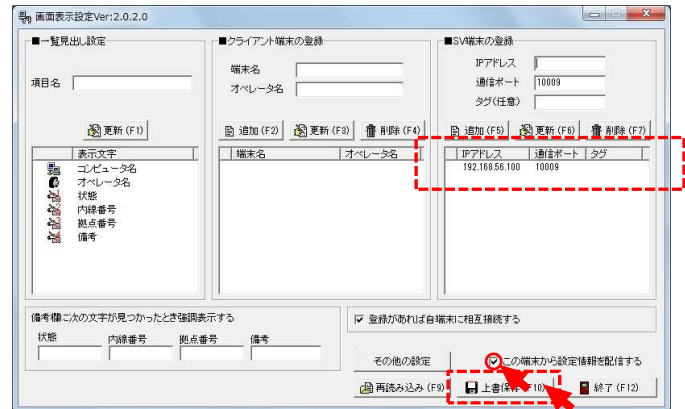
③下記画面が表示されます。[IPアドレス]を変更して[更新]ボタンをクリックします。



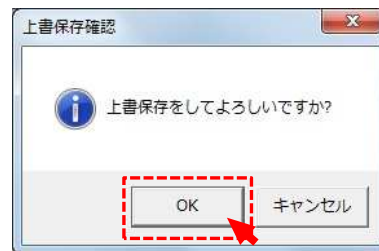
④SV端末のIPアドレスが変更されます。

⑤[この端末から設定情報を配信します]を☑にします。

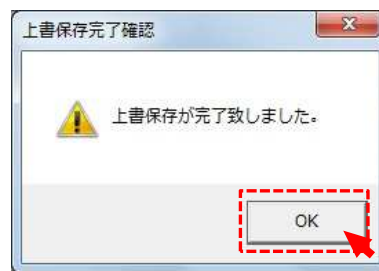
⑥その後に[上書保存]ボタンをクリックします。



⑦[OK]ボタンをクリックすると、完了メッセージを表示します。



⑧[OK]ボタンをクリックします。



⑨[画面表示設定]・[モニタリングサーバ]画面を終了し、[モニタリングサーバ]を起動します。



⑩[ウィンドウ]タブをクリックし[見出しと端末登録画面]が追加されたことを確認してください。



⑪以上でモニターサーバのインストールは完了です。

#### ◆IPアドレスの設定

本設定は初回起動時で設定し、また後から変更することも可能です。

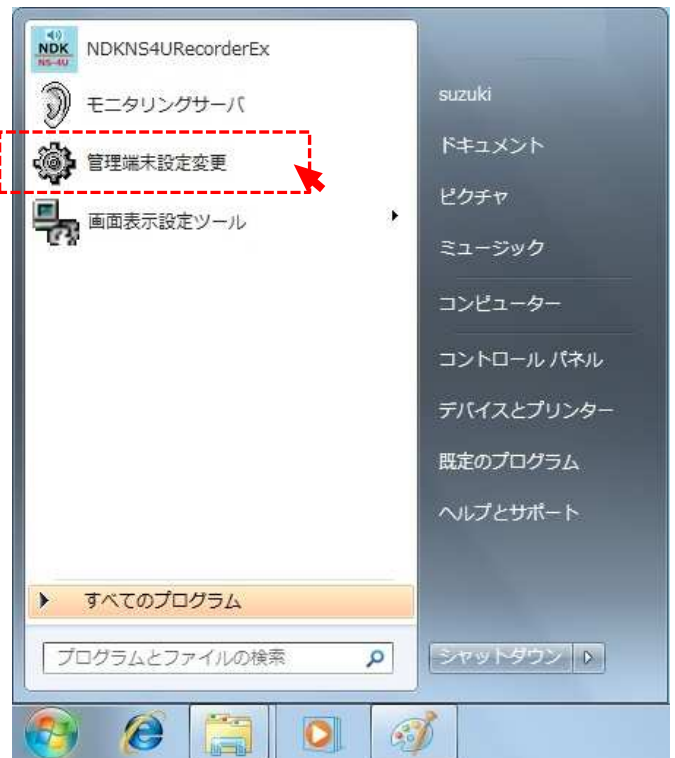
#### ●インストール後の初回起動時

- ①初回起動時に下記画面が表示されます。先のページで確認したIPアドレスを設定します。IPアドレスを設定したら[OK]ボタンをクリックします。

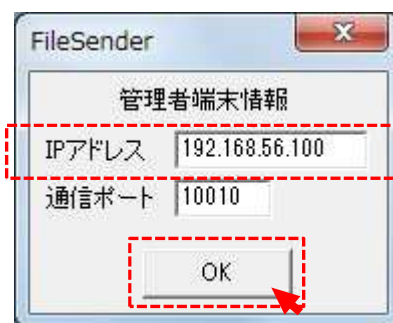


#### ●IPアドレスを変更する場合

- ①スタートボタン、または[すべてのプログラム]から[管理端末設定変更]を起動します。



- ②下記画面が表示されます。新しい管理端末のIPアドレスを設定します。IPアドレスを設定したら[OK]ボタンをクリックします。



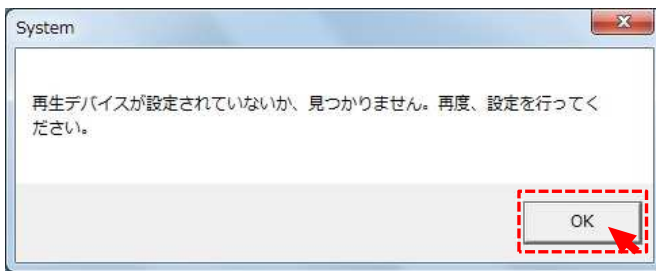
- ③モニタリングサーバ起動時は、再起動してください。

### ◆サウンドデバイスの設定

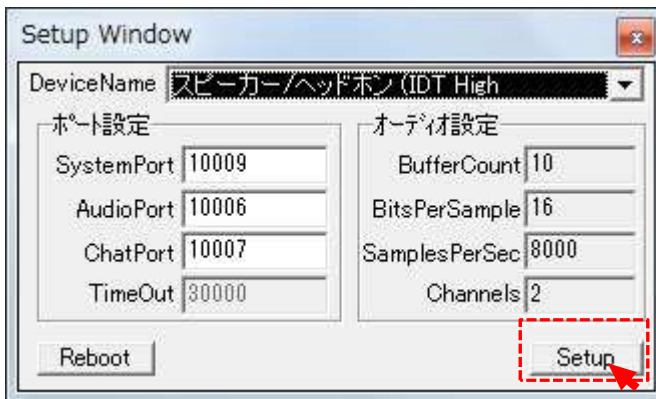
本設定は初回起動時で設定し、また後から変更することも可能です。

#### ●インストール後の初回起動時

- ①前ページの[管理者端末情報]の設定が完了すると下記メッセージが出力されます。  
[OK]ボタンをクリックします。



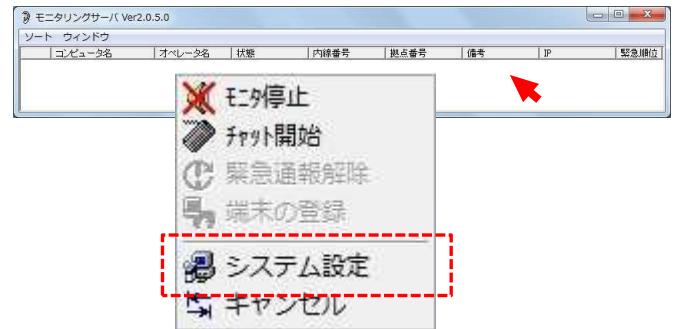
- ②下記画面が表示されます。[DeviceName]からオンボードを含め、再生したいサウンドデバイスを選択し[Setup]をクリックします。



- ③モニタリングサーバのメイン画面が起動します。

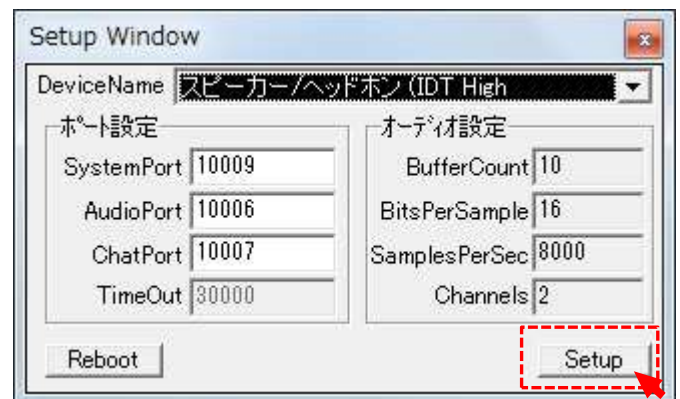
#### ●サウンドデバイスを変更する場合

- ①メイン画面にカーソルを置き、右クリックします。



- ②上記画面「システム設定」をクリックすると下記画面を表示します。

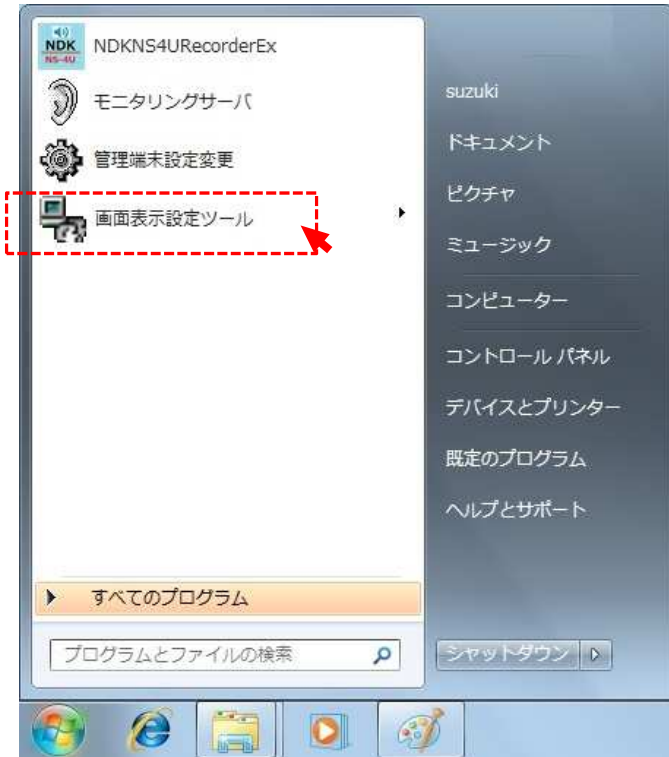
[DeviceName]からオンボードを含め、再生したいサウンドデバイスを選択し、[Setup]をクリックします。



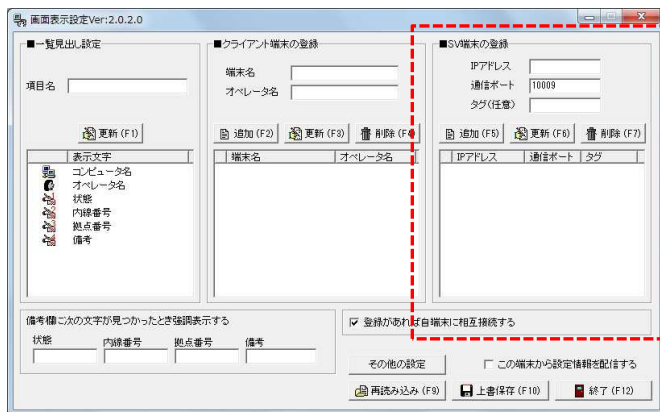
- ③モニタリングサーバのメイン画面が起動します。

#### ◆管理・SV端末を別の端末で設定する：初回インストール時

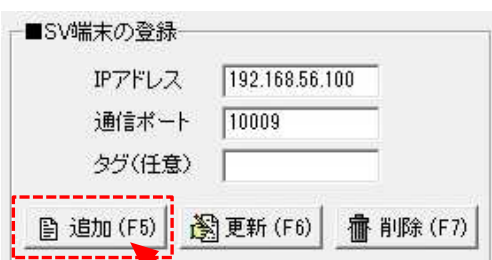
①スタートボタン、または[すべてのプログラム]から [画面設定表示設定ツール]を起動します。



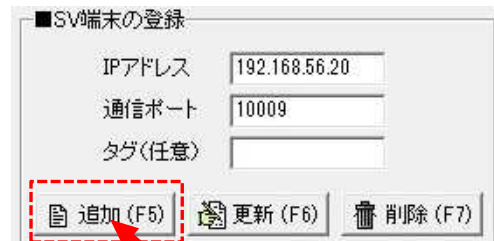
②下記画面を表示します。赤点線枠の設定をします。



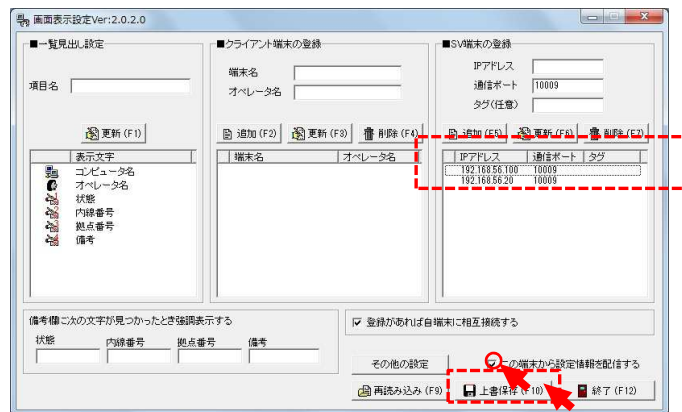
③設定手順②で確認したIPアドレスを設定します。 IPアドレスを入力し[追加]ボタンをクリックします。  
**※本設定で自端末のSV機能になります。**



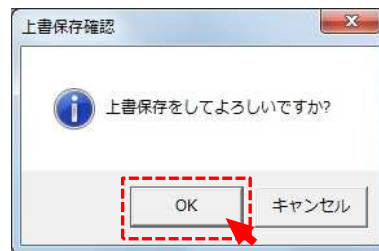
④SV端末のIPアドレスを設定します。 IPアドレスを入力し[追加]ボタンをクリックします。  
**※本設定で他端末がSV機能になります。**



⑤[この端末から設定情報を配信します]を☑にします。 その後に[上書保存]ボタンをクリックします。



⑥[OK]ボタンをクリックします。 完了メッセージを表示します。



⑦[OK]ボタンをクリックします。



- ⑧ [画面表示設定]・[モニタリングサーバ]画面を終了し、[モニタリングサーバ]を起動します。



- ⑨ [ウィンドウ]タブをクリックし [見出しと端末登録画面]が追加されたことを確認してください。



- ⑩ 以上でモニタリングサーバのインストールは完了です。(管理端末)

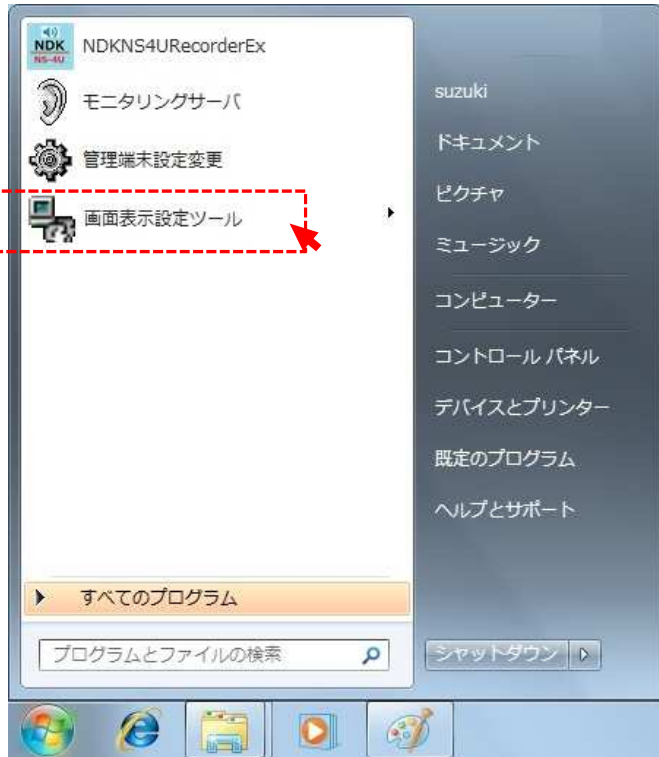
### ● 「モニタリングサーバ」の終了方法

- ① メイン画面右上の[X]をクリックすることで終了します。

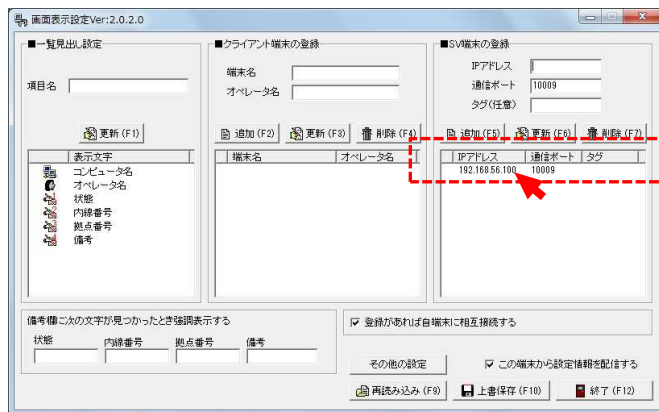


#### ◆管理・SV端末を同じ端末で設定する：IPアドレスを変更する場合

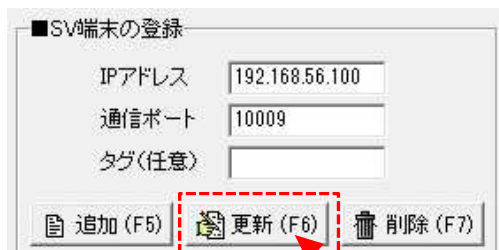
①スタートボタン、または[すべてのプログラム]から [画面表示設定]起動します。



②下記画面を表示します。赤点線枠の設定をします。下記IPアドレスをクリックします。



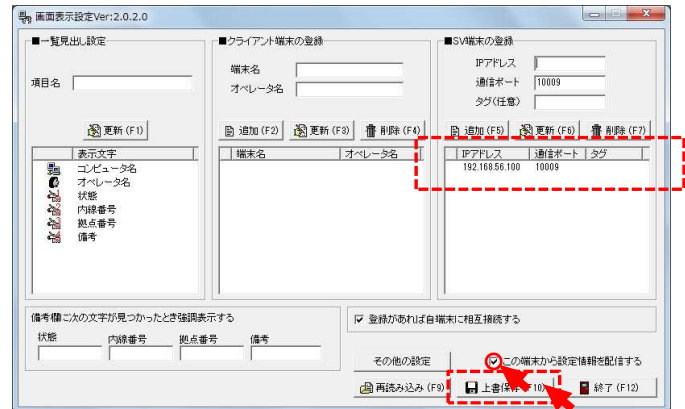
③下記画面を表示します。[IPアドレス]を変更して [更新]ボタンをクリックします。



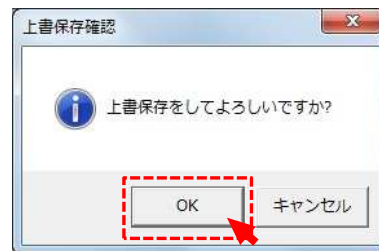
④SV端末のIPアドレスが変更されます。

⑤[この端末から設定情報を配信します]を☑にします。

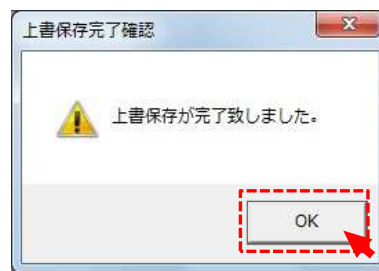
⑥その後に[上書保存]ボタンをクリックします。



⑦[OK]ボタンをクリックします。完了メッセージが表示されます。



⑧[OK]ボタンをクリックします。



⑨[画面表示設定]・[モニタリングサーバ]画面を終了し、[モニタリングサーバ]を起動します。



⑩[ウィンドウ]タブをクリックし、[見出しと端末登録画面]が追加されたことを確認してください。



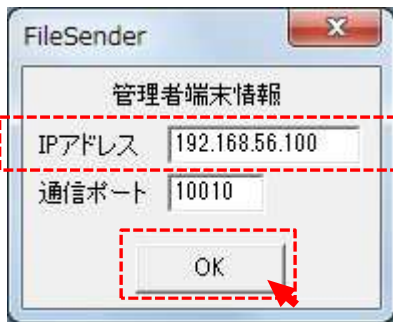
⑪以上でモニタリングサーバのインストールは完了です。(管理端末とSV端末併用)

◆IPアドレスの設定

本設定は初回起動時で設定し、また後から変更することも可能です。

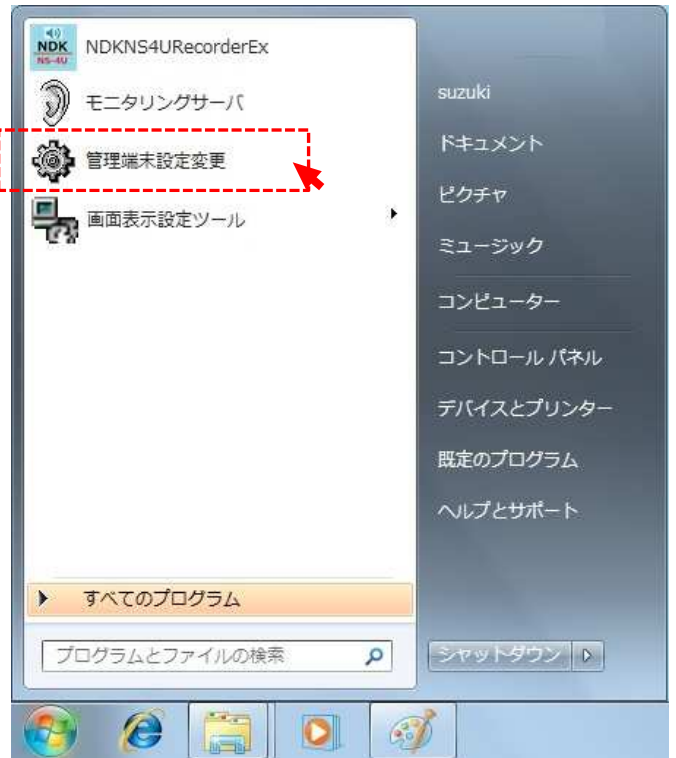
●インストール後の初回起動時

- ①初回起動時に下記画面が表示されます。  
**管理端末のIPアドレス**を設定します。  
 IPアドレスの設定後、「OK」ボタンをクリックします。



●IPアドレスを変更する場合

- ①スタートボタン、または[すべてのプログラム]から [管理端末設定変更]起動します。



- ②下記画面が表示されます。**新しい管理端末のIPアドレス**を設定します。IPアドレスを設定したら [OK]ボタンをクリックします。



- ③[モニタリングサーバ]起動時は再起動してください。

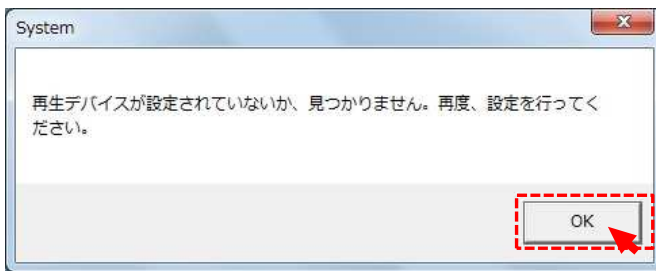


### ◆サウンドデバイスの設定

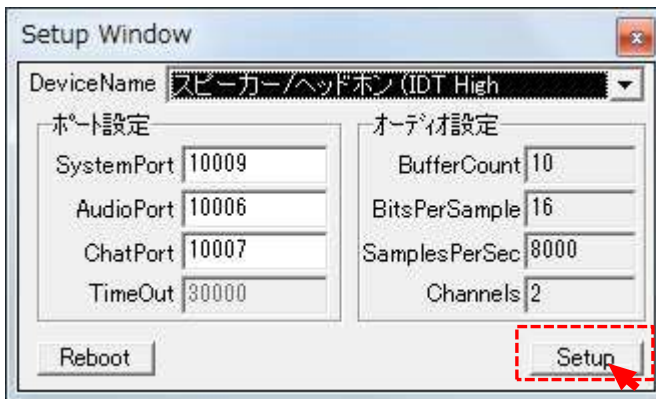
本設定は初回起動時で設定し、また後から変更することも可能です。

### ●インストール後の初回起動時

- ①前ページの[管理者端末情報]の設定が完了すると下記メッセージを出力します。[OK]ボタンをクリックします。



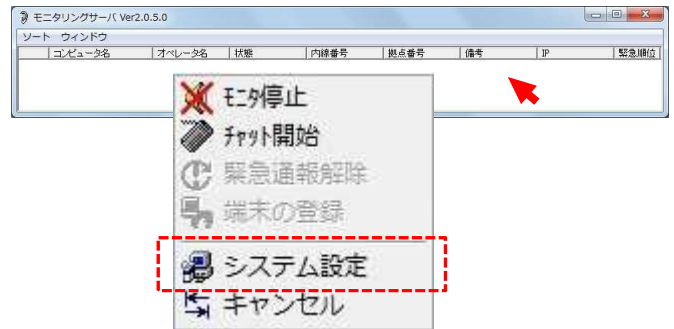
- ②下記画面が表示されます。[DeviceName]からオンボードを含め、再生したいサウンドデバイスを選択し、[Setup]をクリックします。



- ③モニタリングサーバのメイン画面が起動します。

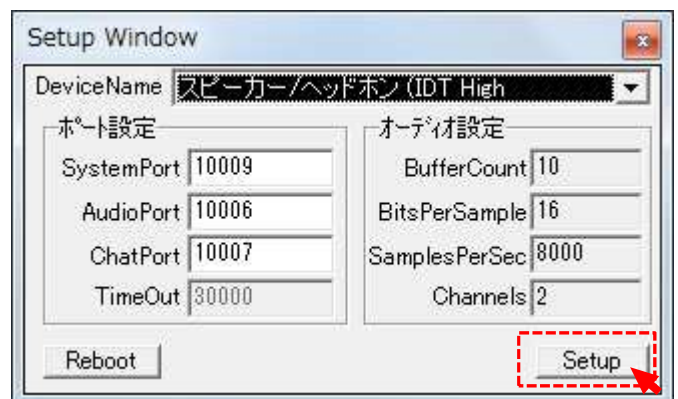
### ●サウンドデバイスを変更する場合

- ①メイン画面にカーソルを置き、右クリックします。



- ②上記画面「システム設定」をクリックすると下記画面を表示します。

[DeviceName]からオンボードを含め、再生したいサウンドデバイスを選択し、[Setup]をクリックします。



- ③[モニタリングサーバ]のメイン画面が起動します。

### ● 「モニタリングサーバ」の終了方法

- ①メイン画面右上の[×]をクリックすることで終了します。



# モニタリングサーバ編 アンインストール手順



## ◆モニタリングサーバをアンインストールします。

●アイコンの説明をします。

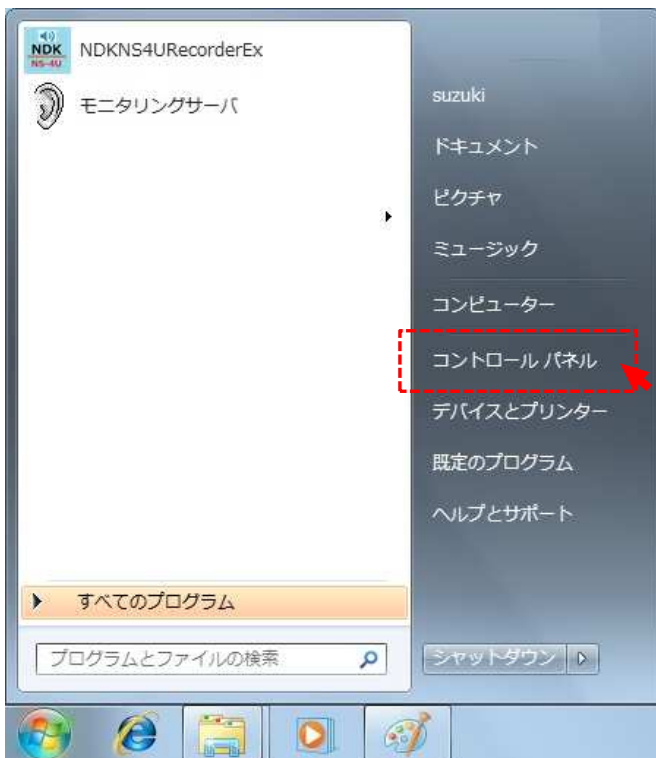


●管理端末(Administrator)を示します。



●SV端末(Supervisor)を示します。

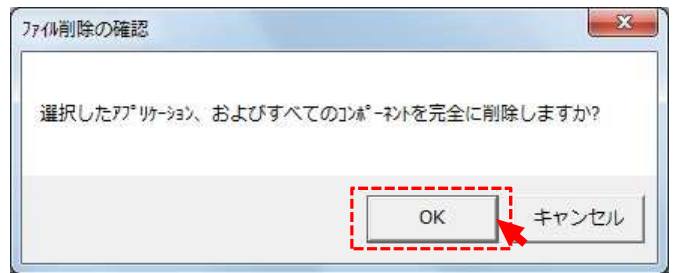
①モニタリングサーバを終了してから以下の操作を行います。  
コントロールパネルから[プログラムのアンインストール]をクリックします。



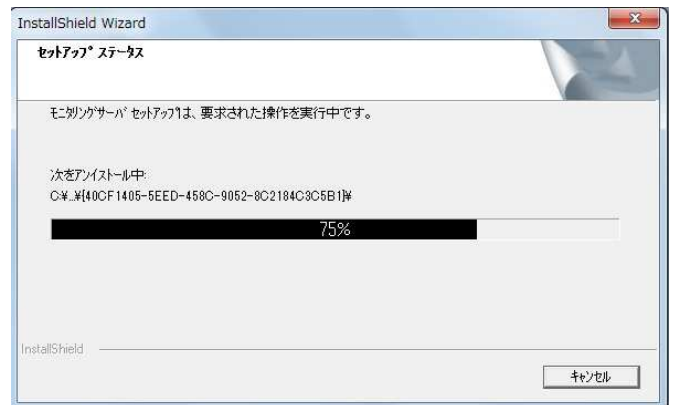
②[モニタリングサーバ]を選択して右クリックします。  
[アンインストールと変更]をクリックします。



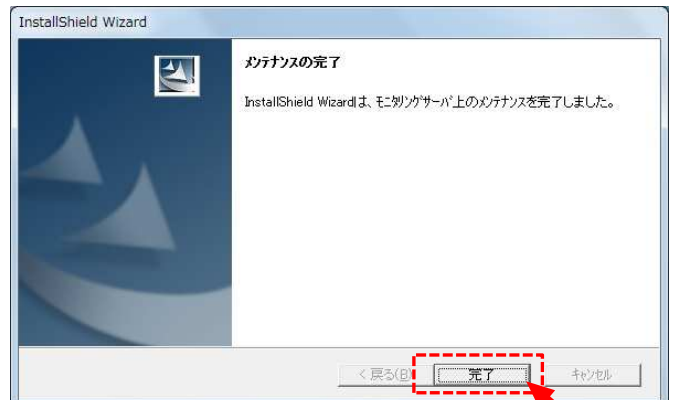
③下記確認画面の[OK]をクリックします。



④下図画面表示し、アンインストールを開始します。



⑤[完了]をクリックし、アンインストールは完了です。

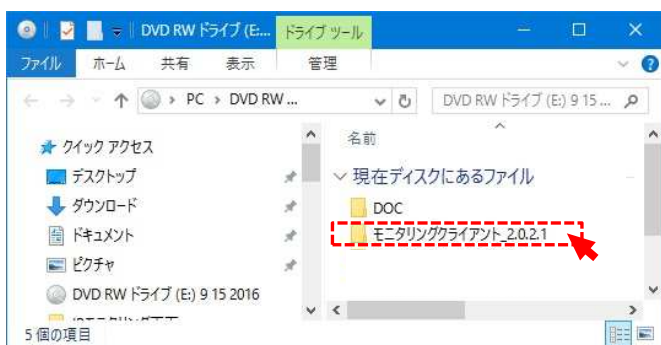


## インストール手順①

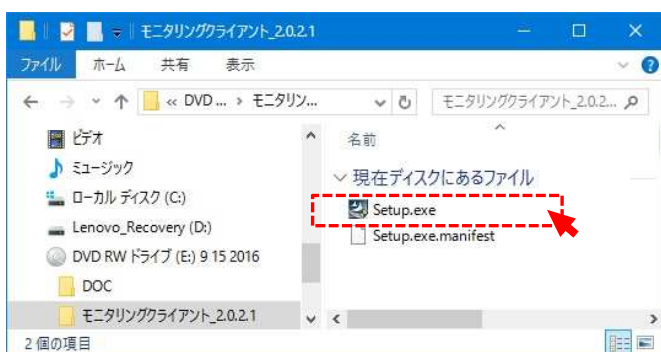
Windows10版イメージは「モニタリングサーバ」の編をご参照ください。

### ◆モニタリングクライアントの設定方法について説明します。

- ①IPモニタリングシステム（クライアント）のCDを、CDドライブにセットすることでCD内のファイルを表示します。
- ②下記[モニタリングクライアント]のフォルダーをダブルクリックします。



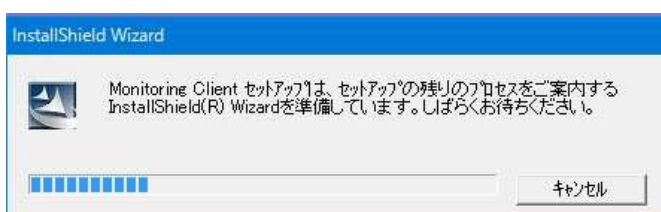
- ③下記[Setup]をダブルクリックして実行します。



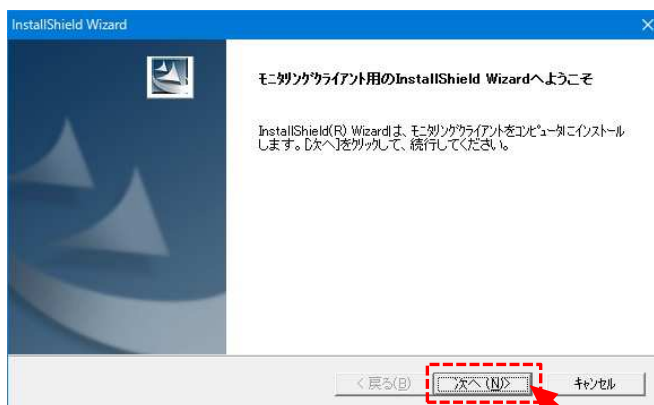
- ④しばらくすると下図画面を表示します。
- ⑤[はい]ボタンをクリックしてください。



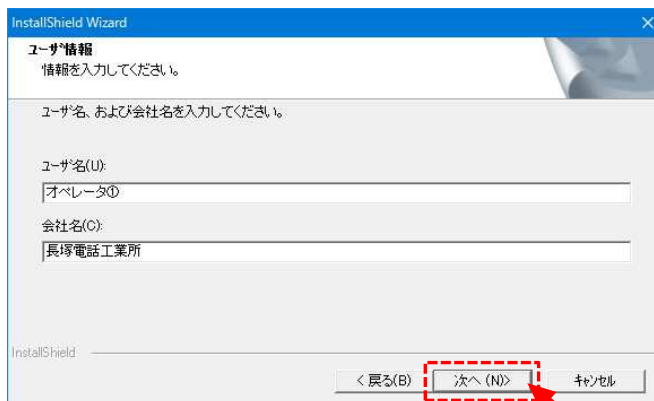
- ⑥下記画面を表示します。



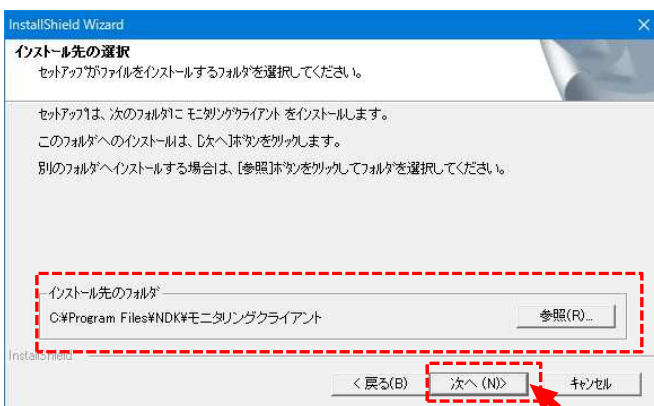
- ⑦その後インストールを開始します。  
[次へ]をクリックします。



- ⑧ユーザ情報を登録します。



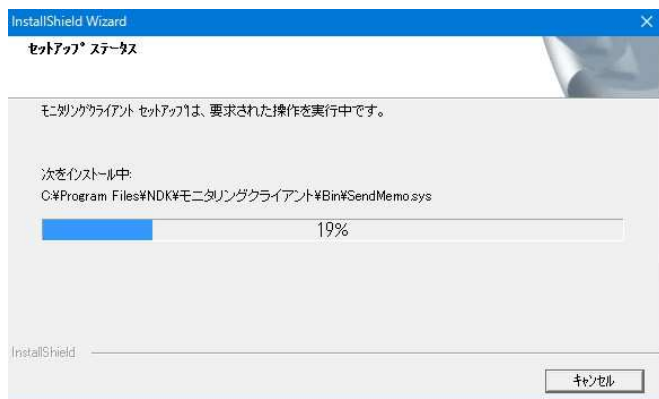
- ⑨インストール先を指定します。  
※下図はWindows10(32bit)版の例です。  
[次へ]をクリックします。



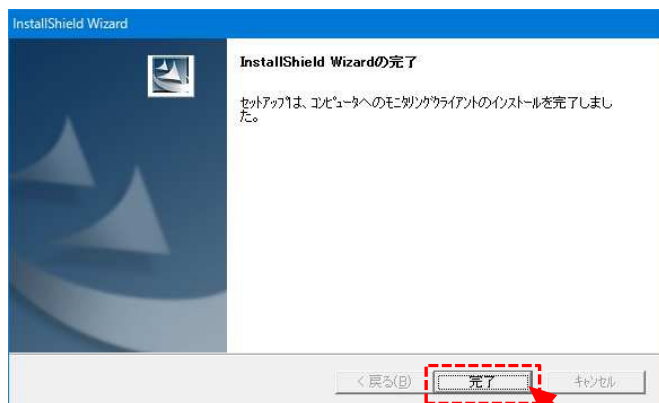
# モニタリングクライアント編 インストール手順②



⑩セットアップを開始します。



⑪インストールが完了します。



**⑫インストールが完了が完了したら必ずP Cを再起動してください。**

# モニタリングクライアント編

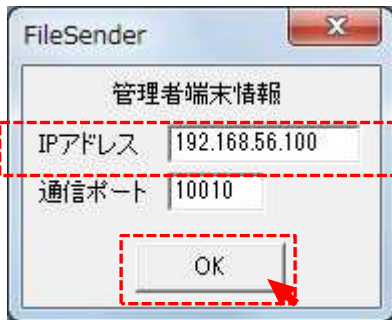
## 設定手順①：管理端末IPアドレス設定



◆管理端末のIPアドレスを設定します。本設定は初回起動時で設定し、また後から変更することも可能です。

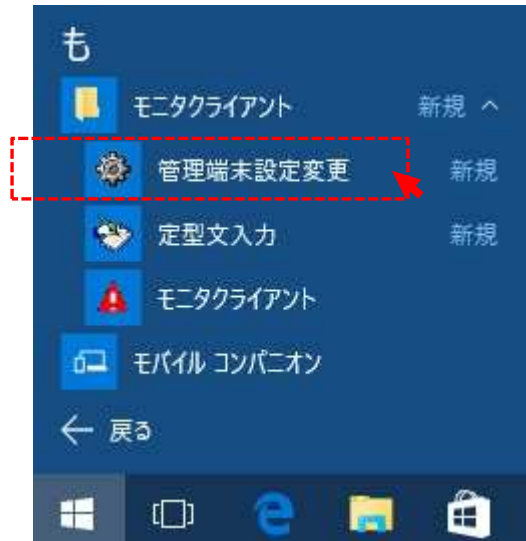
### ●インストール後の初回起動時

①初回起動時に下記画面を表示します。  
**管理端末のIPアドレス**を設定します。  
IPアドレスを設定したら[OK]ボタンをクリックします。



### ●管理端末のIPアドレスが変更された場合

①スタートボタン、または[すべてのプログラム]から [管理端末設定変更]起動します。



②初回起動時に下記画面を表示します。  
**管理端末のIPアドレス**を設定します。  
IPアドレスを設定したら[OK]ボタンをクリックします。



③モニタリングクライアント起動時は再起動してください。

# モニタリングクライアント編

## 設定手順②：サウンドデバイス設定



◆サウンドデバイスの設定をします。本設定は初回起動時で設定します。

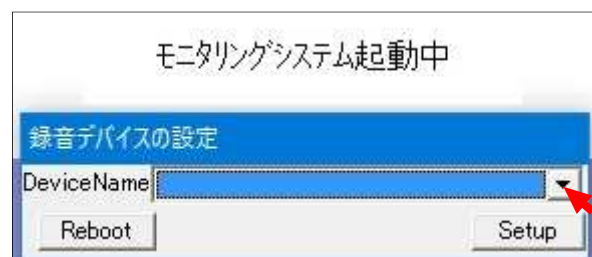
※サウンドデバイスは必ず「\*NS-4U\*」を選択してください。

### ●インストール後の初回起動時

- ①前ページの[管理者端末情報]の設定が完了すると  
下記メッセージを出力します。  
[OK]ボタンをクリックします。



- ②下記画面が表示されます。[DeviceName]の  
ダウンボタンをクリックします。



- ③[DeviceName]のリストから[\*NS-4U\*]を  
選択し、クリックします。



- ④[\*NS-4U\*]が選択されたことを確認し  
[Setup]をクリックします。



- ⑤モニタクライアントが起動します。



### ◆「モニタリングクライアント」の終了方法を説明します。

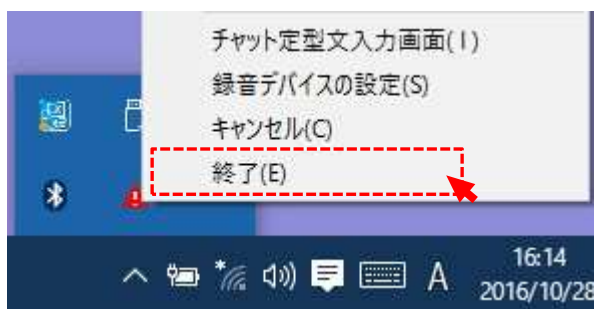
- ①タスクバーにある[隠れているインジケータを表示します]をクリックします。



- ②下記画面を表示します。  
[モニタリングクライアント]のアイコンを右クリックします。



- ③下記画面を表示します。  
[終了]をクリックすることで終了します。





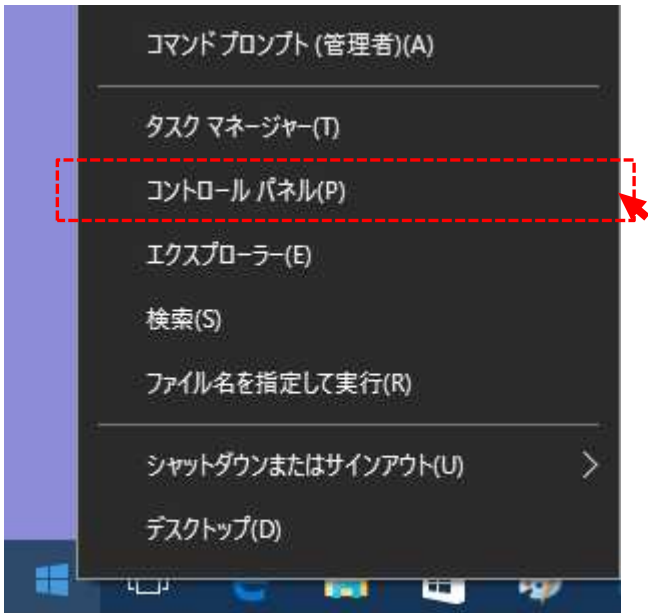
# モニタリングクライアント編



## アンインストール手順 (アプリを終了して下記操作をします)

### ◆モニタリングクライアントをアンインストールします。

①コントロールパネルから[プログラムのアンインストール]をクリックします。



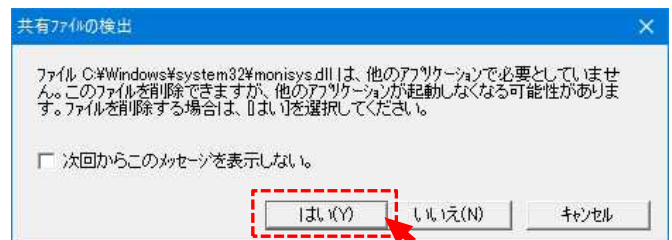
②[モニタリングサーバ]を選択して右クリックします。  
[アンインストールと変更]をクリックします。



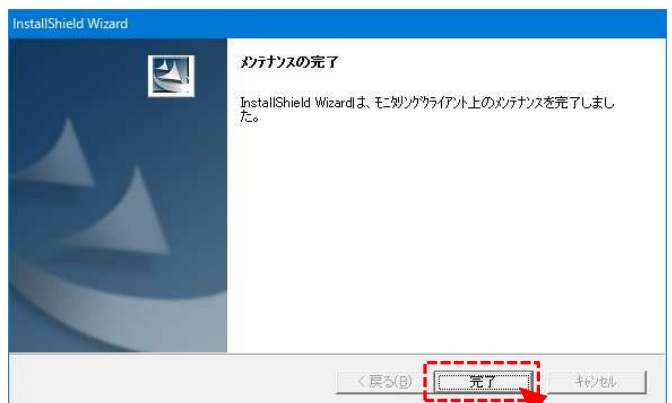
③下記確認画面の[OK]をクリックします。



④下記確認画面を表示する場合があります。  
[はい]をクリックします。



⑤下図画面を表示します。



⑥[完了]をクリック、アンインストールは完了です。

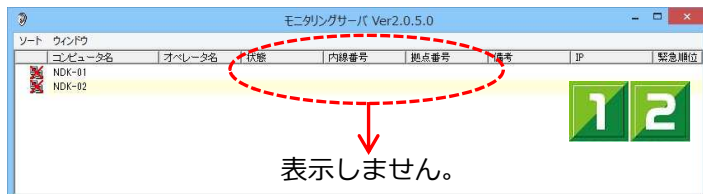
# IPモニタリングシステム操作編

## モニタリング機能



### ◆モニタリング機能について説明します。

- タイプ1、タイプ2の画面  
(タイプについては5、6ページをご参照ください)



### オペレータの状態

オペレータ（コンピュータ名：NDK-01）が通話中



- 以下タイプ3を例にモニターの手順を説明いたします。



メイン画面に表示されている[コンピュータ名]をクリック。その後に右クリックしてプルダウンを表示させます。一番上にある[モニタ開始]を選択します。

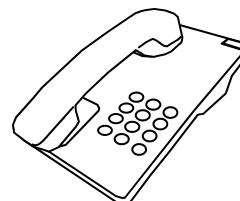


ステータスが[モニター]アイコンに変わります。

[モニタリングサーバ]の[サウンドデバイス設定]で指定したサウンドデバイス（例：PCのスピーカ、イヤホン）からオペレータの通話がモニターできます。



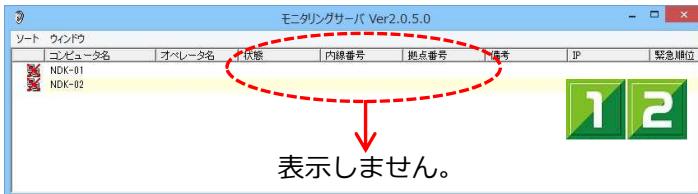
メイン画面に表示されている[コンピュータ名]をクリックします。その後に右クリックしてプルダウンを表示させます。一番上にある[モニタ停止]を選択します。



電話機をオンフック状態

### ◆チャット機能について説明します。

- タイプ1、タイプ2の画面  
(タイプについては5、6ページをご参照ください)



- 以下タイプ3を例にチャットの手順を説明いたします。



メイン画面に表示している[コンピュータ名]をクリック。その後右クリックしてプルダウンを表示させます。[チャット開始]を選択します。



ステータスが[チャット]アイコンに変わります。



管理者 (&SV) とオペレータのパソコンの画面にチャット画面が表示されチャットができる状態になります。

## オペレータの状態

オペレータ (コンピュータ名 : NDK-01) とチャット  
※機能は通話状態でなくてもご利用できます。



※オペレータからチャット機能の終了はできません。

◆チャット画面について説明します。

●チャット画面の操作について説明します。

事前によく使うメッセージを登録して、そのメッセージボタンをクリックすることで登録されたメッセージをワンタッチで相手に送信ができます。

→ テキストを入力して、[送信]ボタンをクリックして相手に送信します。

1 2 3

●上記画面にあるメッセージをワンタッチで送信できるボタンの設定について説明します。

メイン画面にある[ウィンドウ]ボタンをクリック[チャット定型文入力画面]をクリックします。

管理端末にしている画面です。  
SV端末にしている画面では  
[見出しと登録画面]の選択はできません。

1 2 3

[定型文入力]の画面を表示しますので、任意のメッセージを登録します。

→ 事前に登録してあるメッセージを選択して  
[削除]、入力欄から新しいメッセージを  
入力して[追加]→[更新]ボタンをクリック  
します

最大6件の登録が可能です。

1 2 3

◆緊急通報機能について説明します。

### 管理者の操作

- 管理者端末のデスクトップ画面に[緊急通報]を表示します。

タイプ1、タイプ2は[状態]の表示はできません。

[緊急通報]アイコンに。 [緊急通報]表示

- [緊急通報]を表示を停止します。

[コンピュータ名]をクリック、その後右クリックしてプルダウンを表示させて、[緊急通報解除]をクリック。

[緊急通報]が解除されます。

- [緊急通報]に対する対応を選択します。

### オペレータの操作

オペレータ（コンピュータ名：NDK-01）から[緊急通報]をクリック

※機能は通話状態でなくともご利用できます。



[緊急通報ボタン]が“赤”に変化します。



●モニターとチャットは同時利用ができます。

電話対応者とチャット

◆メイン画面の状態表示を説明します(タイプ3の機能になります)。

※「NS-4U」通話録音ソフトウェアの設定画面で「モニター機能」の設定を使用するにします。

更にフォルダーのパスを下記に変更します。

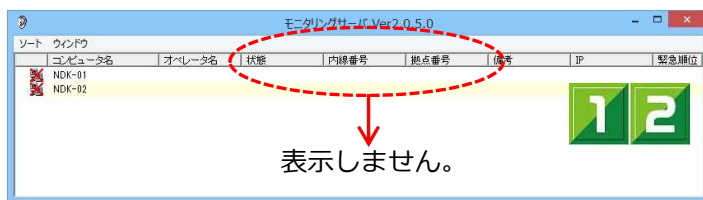
- ・64bitPCの場合：「C:¥Program Files (x86)¥NDK¥モニタリングサーバ¥Bin」
- ・32bitPCの場合：「C:¥Program Files¥NDK¥モニタリングサーバ¥Bin」

※モニタリングシステムをデフォルトのフォルダーにインストールした場合です。

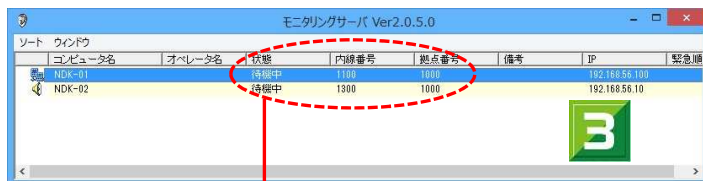
違うフォルダーにインストールした場合はそのフォルダーをしてください。

●タイプ1、タイプ2の場合

(タイプについては5、6ページをご参照ください)



●タイプ3の場合



[状態]が「待機中」と表示されます。

※「内線番号」「拠点番号」も表示します。



[状態]が「通話中」と表示します。

注意：

PC起動時に電話操作が行われない場合、状態が表示されない場合があります。その場合、電話の受話器の上げ下げで状態が表示します



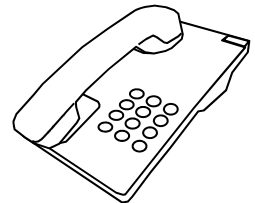
[状態]が「待機中」と表示します。

NS-4Uの状態

電話機の状態



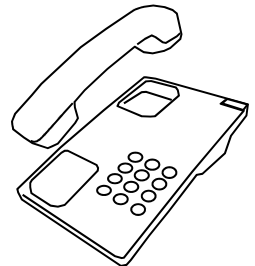
LEDは「赤」で点灯



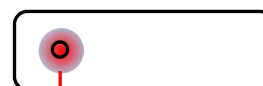
電話機はオンフック状態



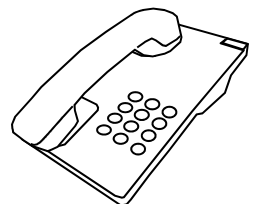
無音時：「赤」で点灯  
有音時：「赤」で点滅  
※有音時=会話時



電話機はオフフック状態



LEDは「赤」で点灯



## 便利な機能①

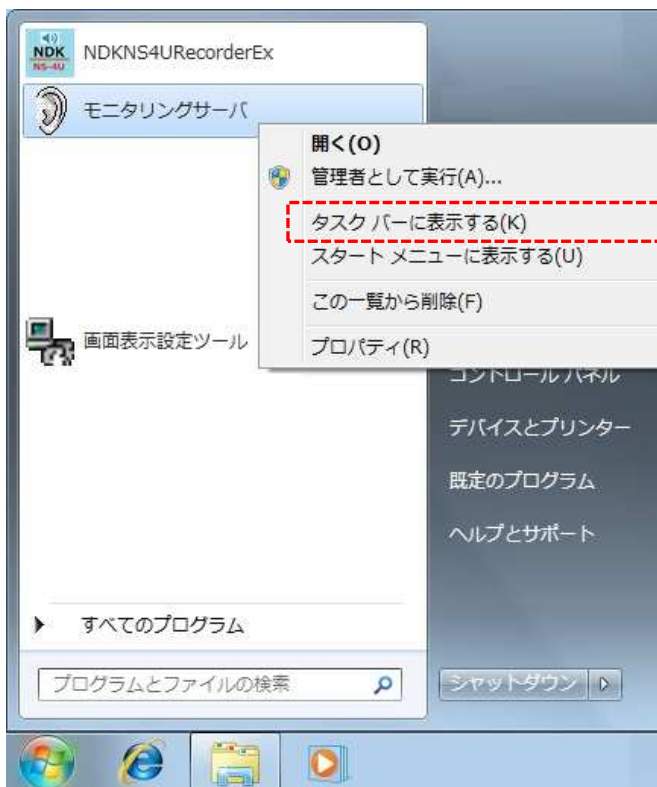
### ◆便利な機能について説明します。

- モニタリングサーバ画面の一覧表の並び換えができます。



→ [ソート]をクリックします。  
表示される項目をクリックすることで並び替えができます。  
※「昇順」でソートします

- モニタリングサーバの起動をタスクバーからできるようにします。



スタートボタン、または全てのプログラムをクリックして[モニタリングサーバ]を右クリックします。  
[タスクバーに表示する]をクリックすることでタスクバーに[モニタリングサーバ]の起動アイコンを表示します。

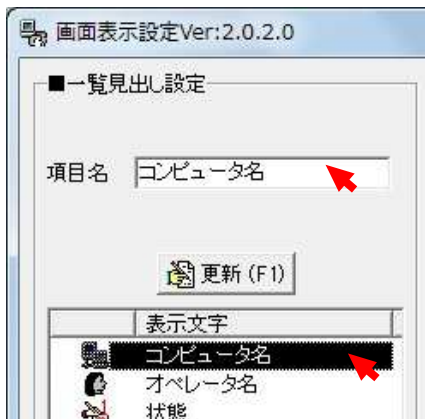


## 便利な機能②

- モニタリングサーバ画面の見出しを変更できます。
  - ・[ウィンドウ]を右クリックしてプルダウンを表示させます。
  - ・[見出しと端末登録画面]をクリックします。



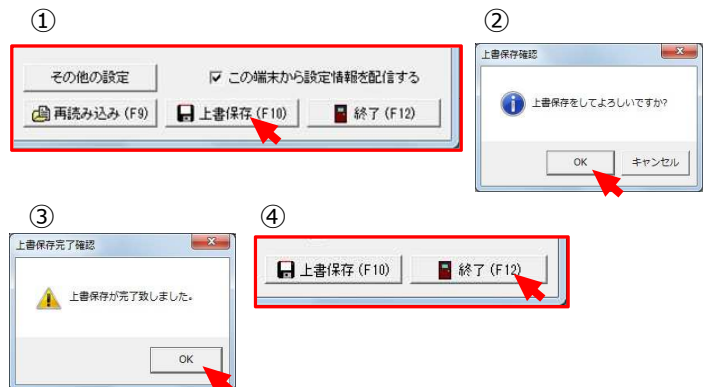
- ・[画面表示設定]画面が表示しますので、修正したい見出しを表示文字から選択肢クリックします。
- ・[項目名]に変更したい表示文字を表示します。



- ・[項目名]に変更したい表示文字を入力します。



- ・[更新]をクリックすることで表示文字を変更します。右記図の終了手順の後、メイン画面を再起動します。



- ・見出しを表示文字が変更されました。





## 便利な機能③

- モニタリングサーバ画面に端末の登録ができます。端末登録することで起動されていない端末名も表示できます。
- ・モニタクライアントが起動すると下図のようにクライアント端末を表示します。



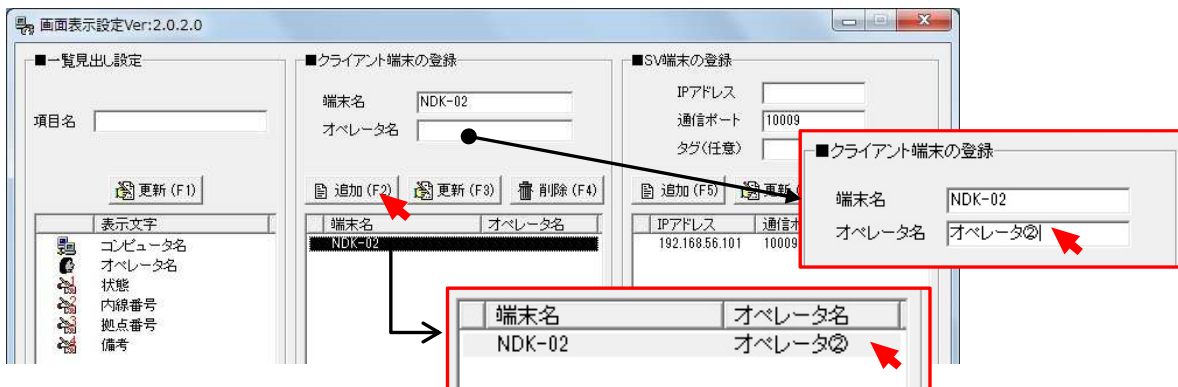
- ・表示された[コンピュータ名]をクリック、そして右クリックすると下図画面を表示します。
- ・[端末の登録]をクリックします。これで端末登録が完了します。



- ・[ウィンドウ]をクリックして[見出しと端末登録画面]をクリックします。



- ・さきほど端末登録した端末が表示されます。クリックして「オペレータ名」を登録します。また「端末名」と「オペレータ名」を追加することで、端末の"事前"登録ができます。



- ・以下左記の図の手順で登録を完了させます。

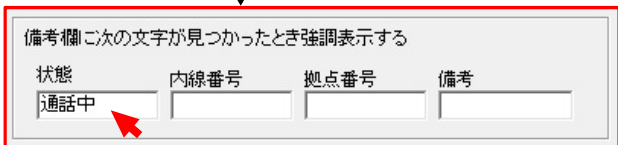
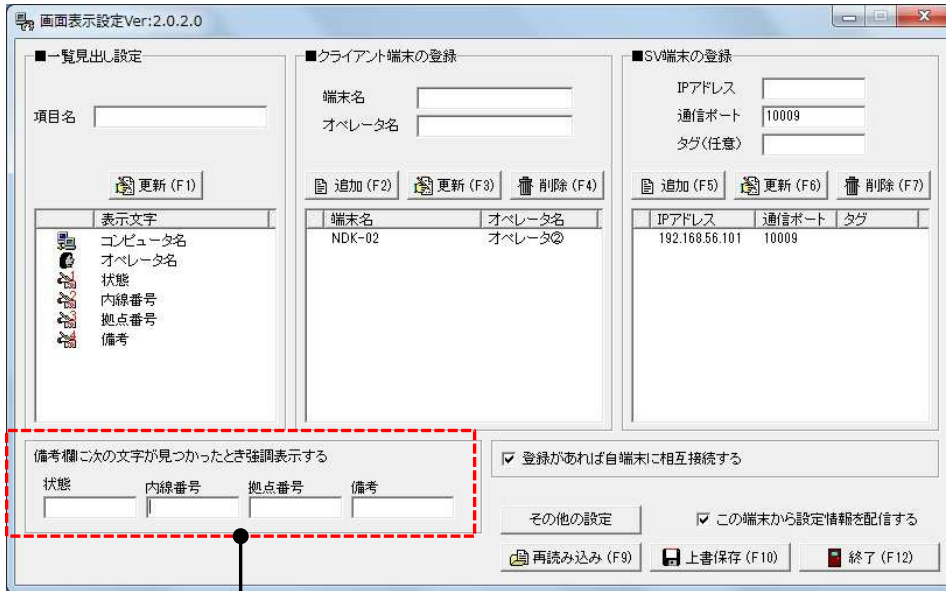


- ・その後、モニタリングサーバを終了させて再起動します。



## 便利な機能④

- モニタリングサーバ画面に表示する端末情報を赤文字で「強調表示」させることができます。
  - ・ [端末表示設定]画面を表示します。表示方法は前ページを参照してください。
  - ・ NS-4Uから送信する各項目で表示する文字を強調したい時に赤点線枠に入力します。



※左図は“通話中”の設定例です

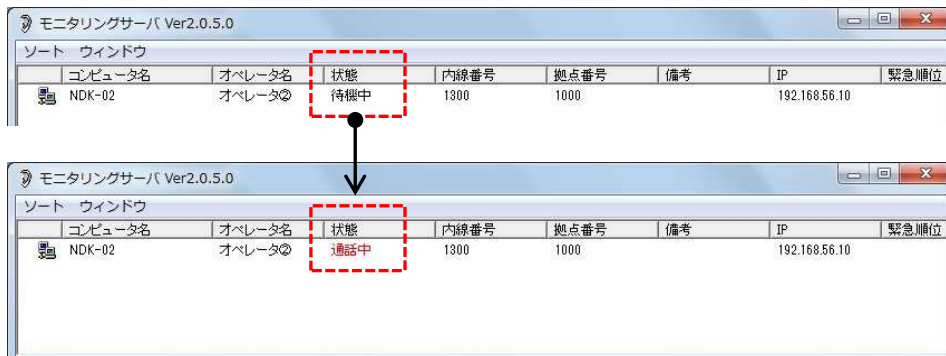
- 以下左記の図の手順で登録を完了します。その後、モニタリングサーバを終了させて再起動します。



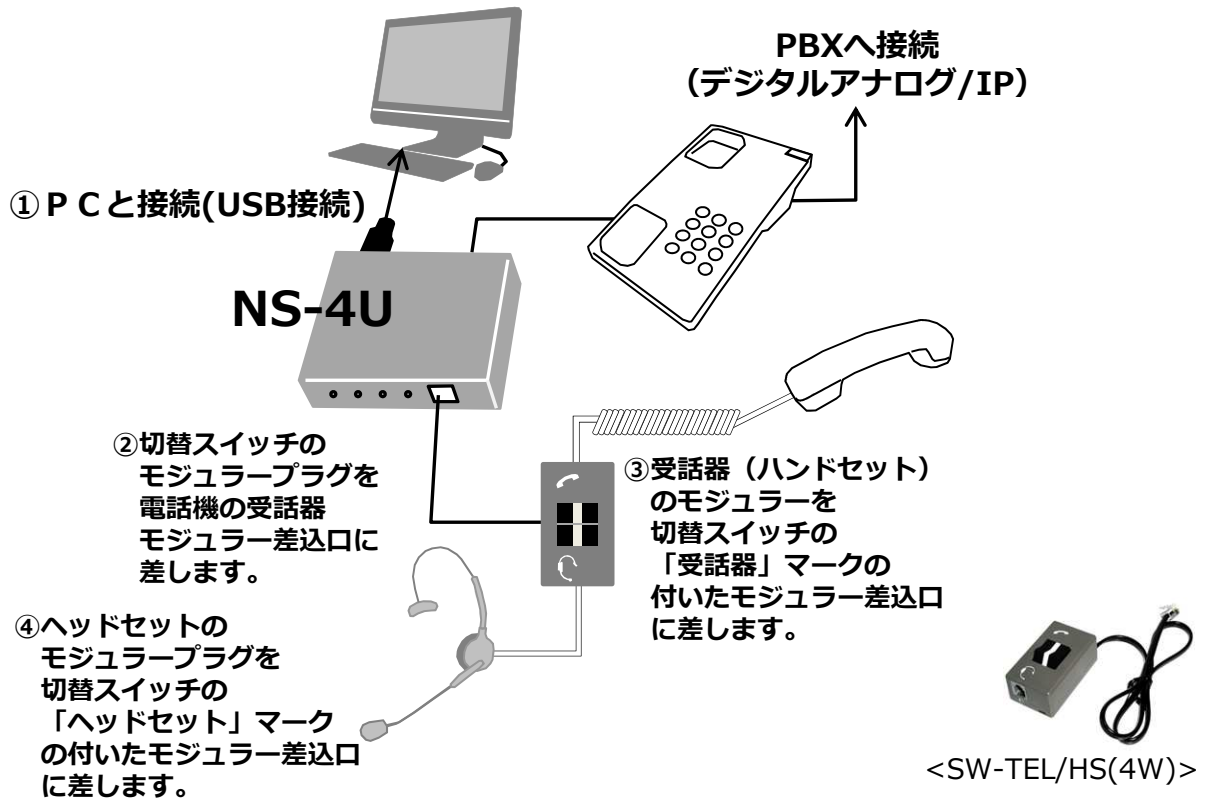
- その後、モニタリングサーバを終了させて再起動します。



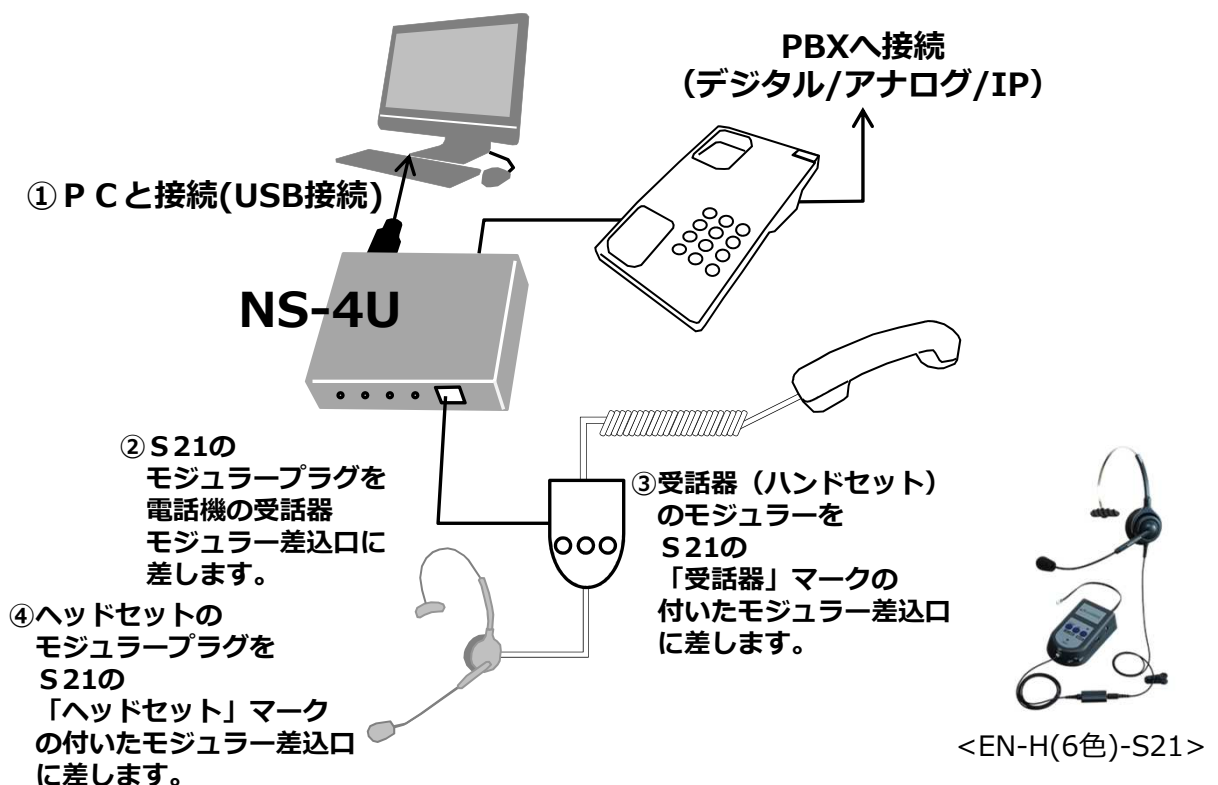
- 設定した強調文字に該当した場合、赤文字で表示されます。



## ●ヘッドセット/ハンドセット切替スイッチを使用する



## ●ヘッドセット/ハンドセットを弊社製品「S21」で切替えて使用する



下記に本製品「IPモニタリングシステム」の重要事項（制約事項）等についてご説明いたします。

1. 御社ITシステムを管理されている部門へ、本ソフトウェアを利用する許可を得てインストールしてください。
2. 各電話機のハンドセットから音声をパソコンに取り込むために「NS-4U」アダプターを使用します。御社ITシステムを管理されている部門へ、「NS-4U」をUSBで接続する許可を得てください。
3. 本製品を利用するネットワーク環境は同一セグメントでご利用頂く事を前提としております。御社内でファイアウォールを越えてIPモニタリングシステムを使用する場合は、別途御社のネットワークを管理されている部門へ下記ポートの開放をご依頼ください。  
●TCP/ポート：10006～10010（サーバ）
4. 各クライアントのサスペンドモードを「OFF」に設定してください。  
（「NS-4U」の認識が外れてしまう恐れがあります）
5. 管理端末（含むSV端末）は固定IPアドレスを割り当ててください。
6. 各クライアント端末（パソコン）の電源は必ず3極プラグでアースが取れていることをご確認ください。アースが取れていない状態でご使用になると、モニタリング音声にノイズが乗ることがあります。
7. モニタリングを安定的にご使用頂くために有線LANでご使用ください。
8. クライアントパソコンが「NS-4U」を認識していない場合、パソコンの電源が「OFF」の場合はモニタリングはできません。
9. ネットワークの帯域状態により、音声途切れる場合があります。ネットワークを管理されている部門へQoSの設定等の対処をお願い致します。
10. PCの負荷によって音声途切れる場合があります。
11. 動作環境は下記の通りです。
  - OS：Windows7 Professional SP1  
Windows10 Professional
  - ハードディスク容量：10MB以上  
メモリー：2GB以上
12. 本システムの使用条件は同一セグメントでのご使用を前提としております。  
違うセグメント間でご使用になる場合にはネットワーク管理部門へご相談ください。